



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 5.3 のトラブルシューティングガイド

摘要

本書では、サポートされているハイパーバイザーおよびハードウェア上で HPE OneView 仮想アプライアンスをトラブルシューティングするための一般的な手順について説明します。本書は、HPE OneView アプライアンスのグラフィカルユーザーインターフェイスまたは REST API をインストール、管理、およびトラブルシューティングして、仮想マシンテクノロジーのコンバージドインフラストラクチャ環境で IT ハードウェアを管理する管理者を対象としています。コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。 FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft®および Windows®は、米国および/またはその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

他の商標は、それぞれの所有者に帰属します。



目次

このガイドについて	8
HPE OneView のトラブルシューティングの概要.....	8
設置の問題のトラブルシューティング	10
アプライアンスがネットワークにアクセスできない.....	10
仮想ディスクのサイズが正しくないため、アプライアンスのアップデートを続行できない.....	10
アプライアンスのアップデート後に古い UI が表示される.....	11
VM ホストのパフォーマンスが低下している.....	11
IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない.....	12
アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する.....	12
vSphere VM ホストの時刻を手動で設定すると、VM が再起動しない.....	13
OVA ファイルを展開できない.....	13
ログインできない.....	14
HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題のトラブルシューティング	15
アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー.....	15
アプライアンスのパフォーマンスが低い.....	16
アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している.....	16
ブラウザに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない.....	17
工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない.....	19
シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない.....	19
HPE OneView でログイン画面が表示されない.....	19
iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする.....	20
HPE OneView のリストア操作に失敗した.....	20
アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する.....	22
HPE OneView を使用した問題のトラブルシューティング	23
HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法.....	23
仮想アプライアンスコンソールの使用.....	26
アクティビティのトラブルシューティング.....	27
アラートが生成されない.....	27
アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない.....	27
HPE OneView アラートがロックされている.....	28
HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない.....	28
HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる.....	29
イベントが解決した後も元のアラートが残る.....	29
アプライアンスの問題のトラブルシューティング.....	29
アプライアンスがシャットダウンしなかった.....	30
アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー.....	31
アプライアンスのパフォーマンスが低い.....	31
HPE OneView で監査のエントリがログに記録されていない.....	32
HPE OneView から監査ログをダウンロードできない.....	33
HPE OneView に監査ログが存在しない.....	33
ブラウザに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない.....	33

HPE OneView のバックアップファイルの作成やダウンロードができない.....	34
HPE OneView で暗号化されていないサポートダンプを作成できない.....	36
工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない.....	36
シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない.....	36
HPE OneView アプライアンスをアップデートできない.....	37
証明書が失効した.....	38
ブラウザーセッションを取得できなかった.....	38
証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される.....	39
HPE OneView アプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する.....	39
HPE OneView アプライアンスのアップデートが失敗する.....	40
HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない.....	41
HPE OneView が SSH 情報を取得できない.....	41
HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない.....	41
HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない.....	42
無効な証明書チェーンによって操作ができない.....	42
HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない.....	42
ログイン画面が表示されない.....	43
公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない.....	44
iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする.....	45
HPE OneView のリストア操作に失敗した.....	45
リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である.....	47
HPE OneView のサポートダンプファイルが保存されていない.....	47
HPE OneView のサポートダンプが作成されない.....	48
CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない.....	49
証明書失効リストを自動的にダウンロードできない.....	50
証明書をインポートできない.....	51
メインメニューにすべてのリソースを表示できない.....	52
予期しないアプライアンスのシャットダウン.....	52
アプライアンスネットワークのセットアップのトラブルシューティング.....	52
アプライアンスがネットワークにアクセスできない.....	53
アプライアンスは DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない.....	53
ネットワーク設定を変更できない.....	54
DNS サーバーは到達不能.....	54
HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない.....	54
アプライアンス IP 設定が正しくない.....	55
HPE OneView で NTP 同期に失敗する.....	55
IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない.....	56
アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する.....	56
暗号化モードの切り替えのトラブルシューティング.....	57
アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する.....	57
暗号化モード切り替え中にセッションが終了する.....	57
FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない.....	58
CNSA モードに切り替えることができない.....	58
メール通知のトラブルシューティング.....	58
アップデート後にメールによるアラート通知が届かない.....	59
HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない.....	59
指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない.....	60
HPE OneView からの頻繁で無関係なメールメッセージ.....	61
ホストが SMTP サーバーとして HPE OneView に応答しない.....	61
HPE OneView からの一部のテストメッセージが受信されていない.....	63
HPE OneView からテストメッセージを送信できなかった.....	64
HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない.....	64
HPE OneView から一部のメール ID にメールメッセージを配信できない.....	65
HPE OneView からメール通知を受信できない.....	66
HPE OneView で非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した.....	66

エンクロージャーとエンクロージャーグループのトラブルシューティング.....	66
ミッドプレーンの交換後に、既存のエンクロージャーが新しいエンクロージャーとして検出される.....	67
無効な Onboard Administrator 証明書.....	67
エンクロージャーの移行が完了しなかった.....	67
c7000 エンクロージャーを追加できない.....	68
c7000 エンクロージャーを強制的に追加できない.....	69
VCM エンクロージャーを移行できない.....	69
c7000 エンクロージャーを削除できない.....	70
エンクロージャーの追加または削除の際に、Onboard Administrator のシングルサインオン (SSO) の構成を解除できない.....	70
未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できない.....	71
ファームウェアアップデートのトラブルシューティング.....	73
エンクロージャー内のすべてのデバイスでのファームウェアのアップデート障害.....	74
ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない.....	74
HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない.....	75
HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとする失敗する.....	76
[ファームウェアのみ]モードを使用したファームウェアアップデートで、ホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない.....	76
HPE OneView は Superdome Flex ファームウェアアップデートを開始できない.....	76
HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない.....	78
認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる.....	78
iLO 接続の消失.....	78
HPE OneView で Onboard Administrator ファームウェアのアップデートに失敗した... 1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません.....	79
Smart Update Tools を使用したファームウェアアップデート中に、適切なホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない.....	80
Superdome Flex ファームウェアアップデートが失敗し、ファームウェアバージョンの不一致が検出された.....	80
ファームウェアのダウングレード後、Superdome Flex のサーバープロファイルを作成および編集できない.....	81
ファームウェアアップデートを開始できない.....	81
HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない.....	82
ハイパーバイザープロファイルのトラブルシューティング.....	82
ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない.....	82
HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作に失敗する.....	83
標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する.....	83
インターコネクトのトラブルシューティング.....	84
HPE OneView でインターコネクトの編集が失敗する.....	84
インターコネクトの障害.....	84
インターコネクトモジュールがインベントリ状態である.....	85
インターコネクトモジュールがメンテナンス状態である.....	86
インターコネクトモジュールが管理されていない状態である.....	86
インターコネクトのステータスが見つかりませんまたは非互換である.....	87
HPE OneView ライセンスのトラブルシューティング.....	88
HPE OneView のライセンス数が見つからない.....	88
HPE OneView でライセンスを追加できなかった.....	88
HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった.....	89
HPE OneView でライセンスを適用できなかった.....	90
HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった.....	91
ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い.....	92
最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される.....	92
消去されたライセンスキーのリストア.....	93
割り当てられたライセンスが指定されたタイプと一致しない.....	93

論理インターコネクトのトラブルシューティング.....	94
HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー.....	94
HPE OneView での I/O ベイの占有エラー.....	95
Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された.....	95
HPE OneView での物理インターコネクトの警告またはエラー.....	96
HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー.....	96
論理スイッチのトラブルシューティング.....	97
スイッチの通信.....	97
ネットワークのトラブルシューティング.....	97
HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する.....	97
ラックマネージャーのトラブルシューティング.....	98
ラックマネージャーに到達できない.....	98
レポートのトラブルシューティング.....	99
HPE OneView でレポートを表示できない.....	99
スコープのトラブルシューティング.....	99
認証の問題に関するトラブルシューティング.....	99
サーバーハードウェアのトラブルシューティング.....	100
Gen10 および Gen10 Plus ラックサーバー上の組み込み HPE アダプターの場所が「不明」になっている.....	100
サーバーの追加が失敗した.....	100
サーバーを追加できない.....	101
サーバーの電源を制御できない.....	102
サーバーを削除できない.....	102
HPE OneView アプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた.....	103
HPE OneView for Superdome Flex サーバーで、ラックマネージャーまたはサーバーハードウェアでの更新およびその他の操作に失敗する.....	103
割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーの交換.....	104
システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない.....	105
ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である.....	105
サーバープロファイルのトラブルシューティング.....	106
ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する.....	106
接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する.....	107
プロファイルから接続を追加できない.....	107
サーバープロファイルを適用できない.....	108
ファームウェアのインストールを完了できない.....	109
接続を追加するときに、ネットワークが見つからない.....	109
HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない.....	109
複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない.....	110
不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される.....	110
HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない.....	111
BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる.....	111
HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない.....	112
サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない.....	113
サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない.....	113
プロファイルを削除できない : MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない.....	114
サーバープロファイルの電源をオフにできない.....	114
ファームウェアをアップデートできない.....	115
ストレージのトラブルシューティング.....	116
HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない.....	117
ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある.....	118
ストレージシステムポートが失敗の状態にある.....	118
ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある.....	119
ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある.....	119

ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある..	119
ストレージシステムポートが復旧中の状態にある.....	120
HPE OneView でのターゲットポートの障害.....	120
Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない.....	121
Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない.....	122
ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない.....	122
ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識され ない.....	123
HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない.....	124
ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する.....	126
スイッチのトラブルシューティング.....	126
ユーザーアカウントのトラブルシューティング.....	126
HPE OneView でディレクトリグループを追加できない.....	126
ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない.....	128
HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない.....	130
HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない.....	131
HPE OneView でディレクトリグループが見つからない.....	131
HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない.....	132
ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない.....	133
HPE OneView での不正な権限.....	134
認証されていないユーザーまたはグループ.....	134
HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない.....	135

HPE OneView のドキュメントの場所..... 136

HPE OneView 製品に関するフィードバック..... 137

Web サイト..... 138

HPE OneView Remote Technician..... 140

サポートと他のリソース..... 141

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	141
アップデートへのアクセス.....	141
リモートサポート (HPE 通報サービス)	142
保証情報.....	142
規定に関する情報.....	142
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	143



このガイドについて

ドキュメントの概要

このガイドでは、HPE OneView 5.3 の次のトラブルシューティング情報を提供します。

- ・ 一般的なトラブルシューティング手順と問題の解決
- ・ トラブルシューティング用情報の入手先

HPE OneView のトラブルシューティングの概要

HPE OneView トラブルシューティング情報は、次のいくつかのドキュメントで構成されるソリューションとして HPE OneView および Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/oneview/docs>) 内で提供されています。

- ・ **HPE OneView UI** : UI は、問題を特定し、解決するのに最も簡単な方法であり、HPE OneView 内でトラブルシューティングを行うためのアラート通知およびオプションが含まれています。問題が発生すると、エラー、警告、またはアラートの形式で表示されます。UI は、リソースのステータスとメッセージの潜在的な問題の解決を示す色の付いたアイコンを含む、HPE OneView アプライアンスヘルスの複数のビューを示します。ほとんどのアラートメッセージは問題について説明し、この問題を解決するための手順を推奨します。推奨手順を必ず実行してから、高度なトラブルシューティングに入ってください。
- ・ **HPE OneView ヘルプ** および **HPE OneView API リファレンス** : HPE OneView ヘルプおよび HPE OneView API リファレンスは、HPE OneView のユーザーインターフェイスで利用できる、アクセスしやすい組み込み型のオンラインヘルプです。

HPE OneView ヘルプのヘルプファイルには、次の情報が含まれています。

- **詳細情報** リンク : これらのリンクは、概念的なコンテンツを指すコンテンツリストとして、ナビゲーションボックスの最上位レベルの親トピック内にあります。
- ユーザーが HPE OneView を簡単にカスタマイズして合理化し、理解するのに役立つ初期ガイド付きセットアップと構成手順を示した **クイックスタート** トピック。クイックスタートトピックは、オンラインヘルプのナビゲーションペイン内にあります。ナビゲーションペインは、オンラインヘルプコンテンツを表示するメインペインの左側にあります。

注記: 詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「HPE OneView ヘルプ」トピックを参照してください。

- 仮想マシン (VM) ホストで実行される安全な HPE OneView 仮想アプライアンス内のさまざまなリソースの概念、手順、例、セットアップについての参照、構成、およびトラブルシューティング情報を含んだトピック。

HPE OneView API リファレンスには、HPE OneView リソースモデル内の各リソースタイプの REST API 仕様にリンクしたコンテンツリンクが含まれています。これらの API 仕様は、HP OneView REST API を呼び出すために必要なあらゆる詳細を提供し、API 呼び出しに関するスクリプトを構築することを意図しています。

- ・ **HPE OneView ユーザーガイド** : このガイドでは、HPE OneView の次の情報を提供します。
 - さまざまなリソース、機能、およびエンドツーエンド管理に関するサマリーとハイライト。
 - HPE OneView の外部でのアクションが必要となる手順とトラブルシューティング情報。

このユーザーガイドは、HPE OneView アプライアンスの GUI または REST API を使用して、仮想マシンテクノロジーのコンバージドインフラストラクチャ環境で IT ハードウェアを管理する管理者を対象としています。

- ・ HPE OneView のトラブルシューティングガイド：このガイドでは、サポートされているハイパーバイザーおよびハードウェア上で HPE OneView 仮想アプライアンスをトラブルシューティングするための一般的な手順について説明します。
- ・ 追加のトラブルシューティングに関するコンテンツは、その他の関連製品のドキュメントで確認できます。
 - [Hewlett Packard Enterprise サポートセンター](#)
 - [Hewlett Packard Enterprise Information Library](#)



設置の問題のトラブルシューティング

以下のトピックでは、インストールの問題に対処する場合のトラブルシューティング情報を提供します。

- ・ アプライアンスがネットワークにアクセスできない
- ・ 仮想ディスクのサイズが正しくないため、アプライアンスのアップデートを続行できない
- ・ アプライアンスのアップデート後に古い UI が表示される
- ・ VM ホストのパフォーマンスが低下している
- ・ IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない
- ・ アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する
- ・ vSphere VM ホストの時刻を手動で設定すると、VM が再起動しない
- ・ OVA ファイルを展開できない
- ・ ログインできない

アプライアンスがネットワークにアクセスできない

症状

アプライアンスがネットワークにアクセスできない。

原因

アプライアンスネットワークが正しく構成されていません。

アクション

1. アプライアンスに ping を実行します。
2. VM コンソールから、ネットワーク構成が正しいことを確認します。
3. VM コンソールから、DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
4. VM コンソールから、DNS サーバーが実行されていることを確認します。

仮想ディスクのサイズが正しくないため、アプライアンスのアップデートを続行できない

症状

仮想ディスクのサイズが正しくないため、アプライアンスのアップデートを続行できません。



アクション

アプライアンスの仮想ディスクが、製品のマニュアルに従って構成されているかどうかを確認します。問題が続く場合は、サポートダンプを作成およびダウンロードして、認定サポート担当者に詳しい分析を依頼してください。

アプライアンスのアップデート後に古い UI が表示される

症状

アプライアンスのアップデート後に、ユーザーインターフェイス（UI）の以前のバージョンが表示されません。

原因

UI のキャッシュされたバージョンがブラウザーに表示されます。

アクション

ブラウザーのキャッシュをクリアし、HPE OneView UI をリロードします。

VM ホストのパフォーマンスが低下している

症状

アプライアンスのパフォーマンス不足。

解決方法 1

原因

ホストマシンの電力管理が有効になっています。

アクション

1. ホストマシンで省電力が無効になっていることを確認します。
2. より強力なチップセットを搭載したホストマシンの使用を検討します。
3. アプライアンスに最低限の数の CPU とメモリ（CPU 8 個、24 GB の RAM）が割り当てられていることを確認します。

解決方法 2

原因

ハイパーバイザーホストの I/O パフォーマンス不足。

アクション

1. RAID 構成を確認してください。RAID 構成は低速な I/O の原因となる場合があります。
2. VM をホストしている可能性のある SAN ストレージへの帯域幅を確認します。

3. 予約および共有設定が有効になっているかどうかを確認します。

詳細情報

[HPE OneView サポートマトリックス](#)

IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない

症状

IPv6 アドレスのみを持つデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない。

原因

HPE OneView アプライアンスは、アプライアンスに IPv6 アドレスがある場合でも、IPv4 アドレスで構成されています。IPv6 アドレスのみを使用してデバイスを管理できる唯一の方法は、アプライアンスを IPv6 ネットワークモードで構成することです。

アクション

1. 管理対象デバイスに IPv4 アドレスを追加するか、デバイスを HPE OneView アプライアンスによって IPv6 モードで管理させます。

詳細情報

[HPE OneView インストールガイド](#)の「HPE OneView アプライアンスのネットワークモード」トピック

アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する

症状

アプライアンスでは、最初に IPv4 アドレスを HPE OneView に入力できますが、タスクはエラーメッセージを出して失敗します。

原因

HPE OneView は、IPv6 用に構成されていると、IPv4 ネットワーク上のデバイス間の通信を送受信できません。

アクション

1. アプライアンスが IPv6 用にのみ構成されている場合は、管理対象リソースが IPv6 アドレスを使用していることを確認してください。



vSphere VM ホストの時刻を手動で設定すると、VM が再起動しない

症状

アプライアンス VM が再起動せず、vSphere 仮想コンソールに次のエラーが表示されます。The superblock last mount time is in the future UNEXPECTED INCONSISTENCY; RUN fsck MANUALLY.

原因

アプライアンスが NTP を使用しておらず、VM ホスト時刻が間違っ過去時刻に設定された。

アクション

VM ホストの時刻設定を正しい時刻にリセットしてから、VM アプライアンスを再起動します。詳しくは、vSphere のドキュメントを参照してください。

アクション

アプライアンスまたは VM ホストが NTP クライアントとして構成されている場合は、NTP サーバーが正しく動作していることを確認します。

OVA ファイルを展開できない

症状

次のメッセージが表示されます。The OVF package is invalid and cannot be deployed.

解決方法 1

原因

選択されたパスに OVA ファイル名が含まれていません。

アクション

OVA ファイルディレクトリに存在する OVA ファイルの完全なアドレスを指定します。完全なアドレスには、ディレクトリ、ファイル名、およびファイル拡張子が含まれます。ディレクトリのアドレスのみを指定した場合、このメッセージが表示されます。

解決方法 2

原因

FTP ファイル転送モードが binary に設定されていません。

アクション

転送モードを `binary` に設定して転送を再度実行してから、チェックサムを確認します。

解決方法 3

原因

ファイルが破損しているか、部分的にダウンロードされた可能性があります。

アクション

ダウンロードを再度実行し、チェックサムを確認します。

ログインできない

症状

アプライアンスに初めてログインするときに、デフォルトの認証情報で失敗する。

解決方法 1

原因

ファクトリーエクスプレスプロセスを使用してユーザー提供のパスワードを選択したため、デフォルトの `administrator / admin` パスワードを使用できません。

アクション

ファクトリーエクスプレスプロセスのフォームで指定したユーザー名とパスワードを入力してください。

解決方法 2

原因

アプライアンスがすでに構成されており、デフォルトパスワードが変更されています。

アクション

1. 初期セットアップを実行した管理者に連絡し、新しいパスワードを取得します。
2. インストールプロセスをもう一度開始します。



HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題のトラブルシューティング

以下のトピックでは、HPE OneView の外部でのアクションが必要となる問題に対処する場合のトラブルシューティング情報を提供します。

- ・ アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー
- ・ アプライアンスのパフォーマンスが低い
- ・ アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している
- ・ ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない
- ・ 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない
- ・ シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない
- ・ HPE OneView でログイン画面が表示されない
- ・ iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする
- ・ HPE OneView のリストア操作に失敗した
- ・ アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する

アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー

症状

復旧不能エラーによりアプライアンスがオフラインになっています。HPE OneView にアプライアンスのエラー画面が表示されます。

原因

HPE OneView で内部エラーが発生しました。

アプライアンスのエラー画面にはエラーに関する詳細が表示され、判明している場合は、エラー検出に基づいて推奨される対応策が表示されます。

以下の操作の 1 つまたは複数を実行するよう指示される場合があります。

アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. プロンプトが表示されたら、サポートダンプファイルを作成して、認定サポート担当者に問い合わせます。
3. アプライアンスをシャットダウンして、HPE OneView と同じバージョンの新しいアプライアンスにバックアップをリストアします。
4. 新しいアプライアンスへの HPE OneView のリカバリが完了するまでは、古いアプライアンスを削除しないでください。エラー状態のアプライアンスを復旧する必要がある場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：バックアップ」のセクションを参照してください。

アプライアンスのパフォーマンスが低い

症状

アプライアンスは動作するが、パフォーマンスが低い。

原因

アプライアンスの構成が最適なパフォーマンスのために設定されていません。

アクション

1. 物理コンポーネントが **HPE OneView サポートマトリックス**に記載されている要件を満たしていることを確認します。
 - ・ ProLiant G7 クラス CPU 以降を含む VM ホスト
 - ・ 2 GHz 以上の仮想 CPU 8 個を含む VM
 - ・ VM が 24 GB メモリで構成されている
 - ・ CPU およびメモリリソースが、ハイパーバイザーツールを使用して予約されている
2. アプライアンスと管理対象デバイス間で適切なネットワーク接続を確認してください。
3. 電力管理が有効でないことを確認します。
4. ハイパーバイザーが過負荷でないことを確認します。
5. 使用可能なストレージが許容可能なことを確認します。
6. ホストが過負荷でないことを確認します。
 - a. 仮想マシンのパフォーマンスデータ (パフォーマンスカウンター) を調べます。ハイパーバイザーが 100% の利用率で動作している場合は、以下の対策を検討してください。
 - ・ VM ホストの再起動
 - ・ より多くのリソースがあり、特にビジーでない VM ホストへのアプライアンスの移動
7. ローカルコンピューターから ping コマンドを使用して、ping の往復時間が許容可能かどうかを確認します。長い時間は、ブラウザーの問題を示すことがあります。
8. ブラウザー設定が正しいことを確認します。
9. プロキシサーバーをバイパスすることを検討してください。
10. 規模の制限を超えていないことを確認します。 **HPE OneView サポートマトリックス**を参照してください。
11. サポートダンプファイルを作成して、**認定テクニカルサポート**に問い合わせます。

アプライアンスが HPE OneView のログインを拒否している

症状

ログイン画面はあるが、アプライアンスがログインを拒否している。

解決方法 1

原因

ローカルユーザーアカウントの認証が無効です。

アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力します。
2. インフラストラクチャ管理者でログイン名と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要があります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
 - a. アカウント名を確認し、ユーザーに役割が割り当てられていることを確認します。
 - b. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

解決方法 2

原因

認証ディレクトリサービスの認証が無効です。

アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力し、正しい認証ディレクトリを選択します。
2. ログイン名、グループと、インフラストラクチャ管理者のパーミッションを確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要があります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
 - a. アカウント名を確認し、ユーザーがディレクトリサービス内のグループのメンバーであることを確認します。
 - b. 認証ディレクトリサービスが正しく構成されていることを確認します。
 - c. ディレクトリサーバーが動作していることを確認します。「[ディレクトリサービスが HPE OneView から使用できない](#)」を参照してください。
 - d. ディレクトリサービスホスト証明書が有効であることを確認します。有効でなければ、証明書を再取得してインストールします。
 - e. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。
 - f. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない

症状

ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない。

解決方法 1

原因

ブラウザがサポートされていません。

アクション

サポートされているブラウザを使用してください。[HPE OneView サポートマトリックス](#)を参照してください。

解決方法 2

原因

ブラウザのキャッシュがいっぱいになっている。

アクション

1. ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。

解決方法 3

原因

JavaScript が有効でない。

アクション

ブラウザで JavaScript を有効にします。

解決方法 4

原因

アプライアンスとの接続に問題があります。

アクション

1. ブラウザーのプロキシ設定が正確であることを確認します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
3. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。
詳細については、[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

解決方法 5

原因

HPE OneView で、ブラウザからの要求に応答できないというエラーが発生しました。

アクション

1. Maintenance Console にログインします。
2. アプライアンスの状態を調べます。
3. **HPE OneView ユーザーガイド**の「Maintenance Console でのアプライアンスの状態」セクションに示されている適切な処置を使用してください。

工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない

症状

工場出荷時設定へのリセット操作後にログインが許可されない。

原因

工場出荷時設定へのリセットによって認証が削除されました。

アクション

初めてログインしたときに使用したデフォルトの認証情報でアプライアンスにログインします。

シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない

症状

再起動操作の結果、再起動ではなくシャットダウンした。

原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。

アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 再起動操作を再実行します。
3. Maintenance Console から再起動操作を再試行します。
4. ハイパーバイザーから再起動操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。
6. 認定テクニカルサポートに連絡して、サポートダンプを提供します。

HPE OneView でログイン画面が表示されない

症状

ログイン画面がない

原因

アプライアンスがまだ起動していないか、ブラウザが正しく動作していない

アクション

1. アプライアンスが完全に起動するまで待ちます。
2. ブラウザーを更新して、再試行します。
3. 新しいブラウザを開いて、再試行します。
4. インフラストラクチャ管理者として、REST API を使用してアプライアンスを再起動します。

iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする

症状

Windows クライアントで Firefox または Chrome を実行しているときは、iLO リモートコンソールの初回のインストールにより、インストールダイアログボックスが再度表示されることがなくなります。コンソールソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、インストールダイアログボックスをリセットする必要があります。インストールダイアログボックスが表示されない。

原因

iLO リモートコンソールソフトウェアのインストールに使用したブラウザ（Firefox または Chrome）とは異なるブラウザを使用中の場合は、ソフトウェアがすでにインストールされていても、ソフトウェアをインストールするよう求めるダイアログボックスが表示されます。

アクション

1. コンソールを再インストールするには、**Shift** キーを押し、**アクション > コンソールの起動**を選択します。
2. ソフトウェアを再インストールするには、**ソフトウェアのインストール**をクリックし、アプリケーションのインストールのためのダイアログボックスをすべて閉じます。
3. **インストール完了** — **コンソールの起動**をクリックして、インストール後にコンソールを起動します。

HPE OneView のリストア操作に失敗した

症状

リストア操作と工場出荷時設定へのリセット操作が失敗したため、アプライアンスは再起動できませんでした。

解決方法 1

原因

バックアップファイルに互換性がない。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 次の条件を満たす最新のバックアップファイルを使用してリストア操作を再試行してください。
リストア中のアプライアンスの HPE OneView メジャーおよびマイナーのバージョン番号が、バックアップファイルが作成されたアプライアンスと同じであること。設定画面には、次の形式でバージョン番号が表示されます。

バージョンメジャー.マイナー.nn-nnnnnn 月一日一年

3. リストア操作で自動的に解決できなかった不整合を調整します。

解決方法 2

原因

重大なエラーが発生した。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 可能であれば、アプライアンスを工場出荷時設定にリセットします。
4. リストア操作を再試行します。

解決方法 3

原因

リストア操作が失敗する。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
 - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
 - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。
4. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

解決方法 4

原因

リストア操作のステータスは、進行中だが、変化の比率 (%) が 2.5 時間以上変更されません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. アプライアンスを再起動します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
 - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
 - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。

アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する

症状

アプライアンスでは、最初に IPv4 アドレスを HPE OneView に入力できますが、タスクはエラーメッセージを出して失敗します。

原因

HPE OneView は、IPv6 用に構成されていると、IPv4 ネットワーク上のデバイス間の通信を送受信できません。

アクション

1. アプライアンスが IPv6 用にのみ構成されている場合は、管理対象リソースが IPv6 アドレスを使用していることを確認してください。

詳細情報

[HPE OneView インストールガイド](#)の「HPE OneView アプライアンスのネットワークモード」トピック

HPE OneView を使用した問題のトラブルシューティング

このトピックでは、HPE OneView でのアクションが必要な問題に対処するためのトラブルシューティング情報を提供します。

具体的なトラブルシューティング手順については、以下のリストのトピックを選択してください。

トラブルシューティングの対象	詳細情報
<ul style="list-style-type: none">・ アクティビティ・ アプライアンスの問題・ アプライアンスネットワークのセットアップ・ 暗号化モードの切り替え・ メール通知・ エンクロージャーとエンクロージャーグループ・ ファームウェアバンドル・ HPE OneView ライセンス・ インターコネクト・ 論理インターコネクト・ ネットワーク・ レポート・ スコープ・ サーバーハードウェア・ サーバープロファイル・ ストレージ・ ユーザーアカウント	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法・ 仮想アプライアンスコンソールの使用

HPE OneView でのトラブルシューティングの基本的な手法

HPE OneView には、問題の解決に使用できるさまざまなトラブルシューティングツールがあります。画面とログを調査するという複合的なアプローチに従うことで、アクティビティと発生したエラーの履歴を取得できます。

- ・ アクティビティ画面には、ユーザーによるものかアプライアンスによるものかに関わらず、アプライアンスに対して行われたすべての変更のログが表示されます。これは監査ログに似ていますが、内容はより詳細で、UI から簡単にアクセスできます。

アクティビティ画面には、ヘルスアラートおよびステータス通知のログも表示されます。

- ・ 監査ログをダウンロードすると、システムに対して行われたセキュリティ関連の処置を把握するために役立ちます。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。

- ・ サポートダンプファイルを作成は、デバッグに必要なログなどの情報を収集し、分析のために認定テクニカルサポートに送信できる暗号化された圧縮ファイルにまとめます。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

- ・ インターコネクト、サーバー、およびエンクロージャーのステータスのレポートを確認します。レポートはインベントリ情報も提供でき、データセンター内のプロセッサとサーバーモデルの種類も確認できます。アップデートが必要なファームウェアを表示することもできます。

注記: UI が利用できない場合は、トラブルシューティングに Maintenance Console を使用できます。



メッセージを探す

構文エラーについて：

値を入力すると、ユーザーインターフェイスにより構文がチェックされます。構文エラーがあると、エントリーの横に説明のメッセージが表示されます。正しい値が入力されるまで、ユーザーインターフェイスまたはコマンドラインには引き続きメッセージが表示されます。

ネットワークのセットアップエラーについて：

- ・ それらを適用する前に、アプライアンスが、IP アドレスや完全修飾ドメイン名 (FQDN) のような重要なネットワークパラメーターを検証して、それらのフォーマットが適切かどうか確認します。
- ・ ネットワーク設定が適用された後、アプライアンスは、到達可能性チェックやホスト名からの IP のルックアップなどのその他の検証を実行します。パラメーターが正しくない場合、アプライアンスはネットワークインターフェイスカード (NIC) に対する検証エラーを示すアラートを生成し、ブラウザとの間の接続は失われる可能性があります。

報告された重大なエラーについて：

- ・ アプライアンスからエンクロージャーへの接続をチェックします。
- ・ サポートダンプを作成して、認定テクニカルサポートに問い合わせます。

アクティビティ画面を調査する

アクティビティについてのメッセージを見つけるには：

注記: 仮想コンソールから以下の手順を実行する必要がある場合があります。

1. ステータスが**クリティカル**または**警告**の最新のアクティビティを見つけます。
2. アクティビティを展開して、エラーの解決方法の推奨処置を表示します。
3. 指示に従ってください。

アプライアンスの仮想マシンを調査する

VM ホストがダウンしている、または応答しない場合：

1. ローカルコンピューターから ping コマンドを使用して、アプライアンスに到達できるかどうかを確認します。
 - ・ ping コマンドが成功した場合は、ブラウザ設定（特にプロキシサーバー）が正しいことを確認します。
プロキシサーバーをバイパスすることを検討してください。
 - ・ ping コマンドがアプライアンスに到達しなかった場合は、アプライアンスがネットワークに接続されていることを確認します。
2. ハイパーバイザーにログオンして、そのハイパーバイザーが実行中であることを確認します。
3. アプライアンスの仮想ゲストが稼働中であることを確認します。
4. VM ホストの構成が有効であることを確認します。

推奨事項	説明
	VM ホストの IP アドレスとその他のネットワークパラメーターの正確さを確認します。
	5. ハイパーバイザーのパフォーマンスデータを調べます。アプライアンスが 100% の稼働率で稼働中の場合は、ハイパーバイザーを再起動します。

仮想アプライアンスコンソールの使用

仮想アプライアンスコンソールには、以下のことをサポートする制限付きのブラウザーインターフェイスがあります。

- ・ DHCP 以外の環境でのアプライアンスのネットワーク構成
- ・ 管理者アカウントのパスワードリセット要求
- ・ 認定テクニカルサポートのための高度な診断

初めてアプライアンスにアクセスして、アプライアンスのネットワークを構成するには、仮想アプライアンスコンソールを使用します。仮想アプライアンスコンソールを使用すると、DHCP 以外の環境のネットワークにアプライアンスをブートストラップすることができます。仮想アプライアンスコンソールは、ブラウザーの全機能を装備した代替のものではありません。

仮想アプライアンスコンソールが、ブラウザーセッションを開始します。ブラウザーは全画面表示であるため、タブを追加することはできません。ソフトウェアアップデートやファームウェアバンドル (SPP) のアップロードなど、ダイアログボックスからファイルを選択する必要のある操作は実行できません。「進む」や「戻る」といった基本的なブラウズ操作のみを実行できます。

仮想アプライアンスコンソールのキーの組み合わせ

キーの組み合わせ	機能
Alt+← (Alt と左矢印)	前のページを参照
Alt+→ (Alt と右矢印)	次のページを参照
Ctrl++ (Ctrl とプラス記号)	拡大
Ctrl+- (Ctrl とハイフン)	縮小
Ctrl+0 (Ctrl とゼロ)	ズームをリセット
Ctrl+F	検索
Ctrl+R または F5	リロード/表示の更新
Ctrl+Alt+Backspace	ブラウザーインターフェイスの再起動

アクティビティのトラブルシューティング

以下の情報を使用して、アクティビティ画面に表示されるアラートのトラブルシューティングを行います。

- ・ アラートが生成されない
- ・ アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない
- ・ HPE OneView アラートがロックされている
- ・ HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない
- ・ HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる
- ・ イベントが解決した後も元のアラートが残る

アラートが生成されない

症状

アラートが生成されません。

原因

アプライアンスがコンプライアンスに従っていない。
サーバーハードウェアのライセンス数が超過しています。

アクション

1. 管理対象サーバーハードウェアにライセンスを適用します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「ライセンス」セクションを参照してください。
2. サーバーハードウェアにライセンスを適用します。

アラートが HPE OneView ユーザーインターフェイスに表示されない

症状

アラート画面にアクセスできないか、その画面にアラートが投稿されていない

原因

権限が適切でない

アクション

1. 可能であれば、特権ユーザーとしてログインします。可能でない場合は、物理リソースタイプのアラートを認識できるロールに変更するように、インフラストラクチャ管理者に要求します。
2. 再度ログインします。
3. アクティビティ画面を表示します。



HPE OneView アラートがロックされている

症状

アラートがロックされており消去できない。

原因

アクティブアラートが内部のリソースマネージャーによってロックされています。

注記: ロック済アラートは手動では消去できません。

アクション

1. アラートを展開し、**解決策**に記された推奨アクションに従います。
2. 詳細が必要な場合は、**イベント詳細**を展開し、**correctiveAction**の詳細を参照してください。
3. 内部リソースマネージャは、推奨されるアクションが実行されたことを検知すると、アラートステータスを自動的にクリア済に変更します。

問題が解決されても、ロックされたアラートが自動的にクリアされない場合は、REST API の `PUT / rest / alerts / {id} ?force = true` を使用して、ロックされたアラートをクリアできます。

詳細については、[HPE OneView ヘルプ](#)にある「アクティビティ」の章の「アラート」と「アクティビティの状態」を参照してください。

詳細情報

- ・ [HPE OneView API リファレンス](#)
- ・ [HPE OneView API リファレンス HPE Synergy](#)

HPE OneView でのアラート状態が予期されたものではない

症状

以下に示す以外のアラート状態：

- ・ アクティブ
- ・ ロック済
- ・ クリア済

原因

リソースが、原因になっている問題について予期しないアラート状態を報告しました。

アクション

1. アラートを展開し、**解決策**に記された推奨アクションに従います。
2. 詳細が必要な場合は、**イベント詳細**を展開し、**correctiveAction**の詳細を参照してください。
3. リソースは変更を検出すると、自動的にアラートの状態をクリア済に変更します。

HPE OneView でアラートのステータスが空白または予期しないとしてレポートされる

症状

以下に示す以外のアラートステート：

- ・ クリティカル
- ・ 警告
- ・ OK
- ・ 不明

アクション

1. アクティビティをクリアします。
2. クリアされたアクティビティをリストアします。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「アクティビティ」のセクションを参照してください。

イベントが解決した後も元のアラートが残る

症状

イベントが解決され、他のすべてのアラートがすべてクリアされても、アラートは通知に残ります。

原因

問題が解決すると多くのアラートが自動的にクリアされますが、元のアラートは手動でクリアする必要があります。元のメッセージは、管理者がインシデントを認識できるように保持されます。そうしないと、イベントが発生しても認識されない可能性があります。

アクション

手動でアラートをクリアします。

アプライアンスの問題のトラブルシューティング

- ・ アプライアンスがシャットダウンしなかった
- ・ アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー
- ・ アプライアンスのパフォーマンスが低い
- ・ HPE OneView で監査のエントリーがログに記録されていない
- ・ HPE OneView から監査ログをダウンロードできない
- ・ HPE OneView に監査ログが存在しない
- ・ ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない
- ・ HPE OneView のバックアップファイルの作成やダウンロードができない

- ・ HPE OneView で暗号化されていないサポートダンプを作成できない
- ・ 工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない
- ・ シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない
- ・ HPE OneView アプライアンスをアップデートできない
- ・ 証明書が失効した
- ・ ブラウザーセッションを取得できなかった
- ・ 証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される
- ・ HPE OneView アプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する
- ・ HPE OneView アプライアンスのアップデートが失敗する
- ・ HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない
- ・ HPE OneView が SSH 情報を取得できない
- ・ HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない
- ・ HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない
- ・ 無効な証明書チェーンによって操作ができない
- ・ HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない
- ・ ログイン画面が表示されない
- ・ 公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない
- ・ iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする
- ・ HPE OneView のリストア操作に失敗した
- ・ リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である
- ・ HPE OneView のサポートダンプファイルが保存されていない
- ・ HPE OneView のサポートダンプが作成されない
- ・ CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない
- ・ 証明書をインポートできない
- ・ メインメニューにすべてのリソースを表示できない
- ・ 予期しないアプライアンスのシャットダウン

アプライアンスがシャットダウンしなかった

症状

シャットダウン操作をしてもアプライアンスが起動したままだった。

原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。



アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
3. シャットダウン操作を再試行します。
4. ハイパーバイザーを使用して適切なシャットダウンを実行します。
5. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。
6. 認定サポート担当者に連絡して、サポートダンプを提供します。Hewlett Packard Enterprise への問い合わせについて詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)を参照してください。

アプライアンスがオフラインで復旧不能エラー

症状

復旧不能エラーによりアプライアンスがオフラインになっています。HPE OneView にアプライアンスのエラー画面が表示されます。

原因

HPE OneView で内部エラーが発生しました。

アプライアンスのエラー画面にはエラーに関する詳細が表示され、判明している場合は、エラー検出に基づいて推奨される対応策が表示されます。

以下の操作の1つまたは複数を実行するよう指示される場合があります。

アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. プロンプトが表示されたら、サポートダンプファイルを作成して、認定サポート担当者に問い合わせます。
3. アプライアンスをシャットダウンして、HPE OneView と同じバージョンの新しいアプライアンスにバックアップをリストアします。
4. 新しいアプライアンスへの HPE OneView のリカバリが完了するまでは、古いアプライアンスを削除しないでください。エラー状態のアプライアンスを復旧する必要がある場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：バックアップ」のセクションを参照してください。

アプライアンスのパフォーマンスが低い

症状

アプライアンスは動作するが、パフォーマンスが低い。

原因

アプライアンスの構成が最適なパフォーマンスのために設定されていません。



アクション

1. 物理コンポーネントが **HPE OneView サポートマトリックス**に記載されている要件を満たしていることを確認します。
 - ・ ProLiant G7 クラス CPU 以降を含む VM ホスト
 - ・ 2 GHz 以上の仮想 CPU 8 個を含む VM
 - ・ VM が 24 GB メモリで構成されている
 - ・ CPU およびメモリリソースが、ハイパーバイザーツールを使用して予約されている
2. アプライアンスと管理対象デバイスの間で適切なネットワーク接続を確認してください。
3. 電力管理が有効でないことを確認します。
4. ハイパーバイザーが過負荷でないことを確認します。
5. 使用可能なストレージが許容可能なことを確認します。
6. ホストが過負荷でないことを確認します。
 - a. 仮想マシンのパフォーマンスデータ (パフォーマンスカウンター) を調べます。ハイパーバイザーが 100%の利用率で動作している場合は、以下の対策を検討してください。
 - ・ VM ホストの再起動
 - ・ より多くのリソースがあり、特にビジーでない VM ホストへのアプライアンスの移動
7. ローカルコンピューターから ping コマンドを使用して、ping の往復時間が許容可能かどうかを確認します。長い時間は、ブラウザーの問題を示すことがあります。
8. ブラウザー設定が正しいことを確認します。
9. プロキシサーバーをバイパスすることを検討してください。
10. 規模の制限を超えていないことを確認します。 **HPE OneView サポートマトリックス**を参照してください。
11. サポートダンプファイルを作成して、**認定テクニカルサポート**に問い合わせます。

HPE OneView で監査のエントリーがログに記録されていない

症状

監査ログのエントリーが欠けている。

原因

監査ログの編集によってログ記録が停止した。

アクション

アプライアンスを再起動します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

HPE OneView から監査ログをダウンロードできない

症状

監査ログをダウンロードするためのアクションメニュー項目が表示されていない。

原因

権限が適切ではありません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 監査ログをダウンロードします。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。

HPE OneView に監査ログが存在しない

症状

監査ログが削除された。

アクション

アプライアンスを再起動して、監査ログを作成し、ログ記録を再開します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない

症状

ブラウザーに HPE OneView ユーザーインターフェイスが表示されない。

解決方法 1

原因

ブラウザーがサポートされていません。

アクション

サポートされているブラウザーを使用してください。[HPE OneView サポートマトリックス](#)を参照してください。

解決方法 2

原因

ブラウザーのキャッシュがいっぱいになっている。



アクション

1. ブラウザーのキャッシュをクリアして、再試行します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。

解決方法 3

原因

JavaScript が有効でない。

アクション

ブラウザーで JavaScript を有効にします。

解決方法 4

原因

アプライアンスとの接続に問題があります。

アクション

1. ブラウザーのプロキシ設定が正確であることを確認します。
2. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
3. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。
詳細については、[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

解決方法 5

原因

HPE OneView で、ブラウザーからの要求に応答できないというエラーが発生しました。

アクション

1. Maintenance Console にログインします。
2. アプライアンスの状態を調べます。
3. **HPE OneView ユーザーガイド**の「Maintenance Console でのアプライアンスの状態」セクションに示されている適切な処置を使用してください。

HPE OneView のバックアップファイルの作成やダウンロードができない

症状

バックアップファイルを作成またはダウンロードできなかった。



解決方法 1

原因

関連するほかの操作が進行中である。バックアップファイルは、一度に1つしか作成できません。バックアップファイルは、リストア操作中や、前のバックアップファイルのアップロードまたはダウンロード中には作成できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 別のバックアップまたはリストア操作が実行中でないかを確認します。設定画面の進行状況バーまたはアクティビティのサイドバーに示された完了状況を確認します。
3. ジョブの操作が完了するまで待ちます。
4. アラートが表示された場合は、その解決方法に従います。
 - ・ バックアップ操作を再試行します。
 - ・ バックアップ操作が失敗した場合は、アプライアンスを再起動します。
 - ・ アプライアンスを再起動した後、バックアップ操作を再度実行します。

解決方法 2

原因

ネットワーク接続の問題によってダウンロードできません。

アクション

ネットワークが正しく構成されていて、予期したとおりに実行されていることを確認します。

解決方法 3

原因

バックアップ操作中にプロファイル操作が実行されていたため、次のいずれかが発生しました。

- ・ ネットワーク内で GUID が重複する
- ・ サーバーに前のプロファイルの設定が適用される
- ・ エラーメッセージ：操作は中断されました
- ・ エラーメッセージ：構成に整合性がありません

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 影響を受けるサーバーを特定します。
3. サーバーからプロファイルの割り当てを解除します。
4. サーバーにプロファイルを再割り当てします。

いずれかのエラーメッセージが報告された場合は、この状態に関係した、(HPE OneView には関連のない) 次のような要因を確認します。

サーバーが移動されたかどうか？

サーバーの電源がオフにされたかどうか？

5. サポートダンプファイルを作成します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

6. 認定サポート担当者に、この問題を報告します。

HPE OneView で暗号化されていないサポートダンプを作成できない

症状

暗号化されたサポートダンプファイルを作成できるが、暗号化されていないものを作成できない。

原因

暗号化されていないサポートダンプファイルを作成する適切な権限がありません。インフラストラクチャ管理者のみが実行できます。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。

2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

3. 暗号化されていないサポートダンプのオプションを指定します。

4. サポートダンプを作成します。

5. 進行状況バーを調べることで、成功を確認します。

工場出荷時設定へのリセット操作後に HPE OneView にログインできない

症状

工場出荷時設定へのリセット操作後にログインが許可されない。

原因

工場出荷時設定へのリセットによって認証が削除されました。

アクション

初めてログインしたときに使用したデフォルトの認証情報でアプライアンスにログインします。

シャットダウン後にアプライアンスを再起動できない

症状

再起動操作の結果、再起動ではなくシャットダウンした。

原因

内部サーバーエラーが発生した可能性があります。

アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 再起動操作を再実行します。
3. Maintenance Console から再起動操作を再試行します。
4. ハイパーバイザーから再起動操作を再試行します。
5. 問題が解決しない場合は、サポートダンプを作成します。
6. 認定テクニカルサポートに連絡して、サポートダンプを提供します。

HPE OneView アプライアンスをアップデートできない

症状

アプライアンスのアップデート操作が失敗する。

解決方法 1

原因

権限が適切でない

アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. アップデート操作をもう一度実行します。

解決方法 2

原因

アプライアンスがネットワークにアクセスできない。

アクション

[アプライアンスがネットワークにアクセスできない](#)を参照してください。

解決方法 3

原因

アプライアンス証明書が無効、失効した、あるいは変更された。



アクション

1. 設定画面のセキュリティウィンドウから、証明書の設定を調べます。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：セキュリティ」のセクションを参照してください。
2. アプライアンス証明書が無効か失効している場合は、新たに取得します。
証明書タイプに応じて、「アプライアンス自己署名証明書の作成」トピック、または [HPE OneView ヘルプ](#)または [HPE OneView ユーザーガイド](#)の「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」トピックを参照してください。
3. ブラウザーページを更新します。
4. 新しい証明書を承諾します。
5. アップデート操作を再度試します。

証明書が失効した

症状

認証機関が証明書を認識しない。

原因

証明書が有効ではなくなっています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、アプライアンス用の新しい証明書を作成または取得します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)または [HPE OneView ユーザーガイド](#)の「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」トピックを参照してください。
2. 新しい署名要求を生成します。

ブラウザーセッションを取得できなかった

症状

ブラウザーにセッションが表示されないか、セッションがフリーズしたように表示される。

解決方法 1

原因

セッションがタイムアウトした

アクション

1. ログアウトします。
2. ログインし直して新しいセッションを開始します。



解決方法 2

原因

セッションからログアウトしている。

アクション

ログインして新しいセッションを開始します。

証明書管理機能が有効な場合、アップグレード後にエラーメッセージが表示される

症状

証明書管理機能が有効な場合、HPE OneView 4.0 以降にアップグレードした後、次の警告メッセージが表示されます。

現在のアプライアンス証明書は、以前のバージョンのアプライアンスで当初生成されました。Two-Factor 認証用に構成された iLO との通信はサポートされていません。iLO の Two-Factor 認証は、拡張キー使用法フィールドに"クライアント認証"属性を含むアプライアンス証明書を必要とします。

このアラートは、iLO の Two-Factor 認証を使用していない環境では無視できます。iLO の Two-Factor 認証を使用する場合は、新しいアプライアンスの自己署名証明書を生成するか、新しい証明書署名リクエストを実行してください。

解決方法 1

原因

アプライアンス Web サーバー証明書にクライアント認証属性がありません。

アクション

アプライアンスの新しい自己署名証明書を生成します。

解決方法 2

アクション

CA 署名付きアプライアンス証明書の場合は、新しい証明書署名リクエストを作成します。[HPE OneView ユーザーガイド](#)の証明書の管理に詳細が記載されています。

HPE OneView アプライアンスアップデートファイルをダウンロードしても、アップデートが失敗する

症状

アップデートファイルが正常にダウンロードされたが、アップデート操作によってアプライアンスがアップデートされない。



解決方法 1

原因

ダウンロードファイルがブラウザには大きすぎる。

アクション

1. ダウンロードサイズがブラウザの機能内であることを確認します。
2. 別のブラウザを使用します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「ブラウザ」のセクションを参照してください。

解決方法 2

原因

ファイルがアプライアンスから削除された。

アクション

1. アップデートファイルをダウンロードします。
2. アップデート操作を再試行します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンスのアップデート」を参照してください。

解決方法 3

原因

アプライアンスのバージョンは、アップデートの対象となるバージョンの範囲外です。

アクション

1. サポートされているバージョン（アプライアンスのバージョンに基づいた）のアップデートファイルをダウンロードします。
2. アップデート操作を再試行します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンスのアップデート」を参照してください。

HPE OneView アプライアンスのアップデートが失敗する

症状

アップデートアクションの前に、アプライアンスのアップデートに影響するすべてのブロックまたは警告の条件が表示されます。

アップデートが失敗する

アクション

1. すでにインストールされている同じバージョンにアップグレードしていないことを確認します。
2. アップデートを再試行する前に、設定画面の**アプライアンス**パネルで、LAN、CPU、およびメモリのすべてのステータスインジケータが緑色であることを確認します。
3. サポートダンプを作成し、**HPE サポート担当者にお問い合わせ**ます。

詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

HPE OneView が共有対称暗号鍵をネゴシエートできない

症状

一致する鍵交換方式が見つからなかったため、リモートバックアップ構成の検証に失敗し、エラーメッセージが表示されます。

原因

アプライアンス上での各セッションの共有対称暗号鍵のネゴシエーションに使用可能な鍵交換アルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致していません。

アクション

リモートバックアップサーバーに構成されている `KexAlgorithms` に、[サポートされているアルゴリズム]リストのアルゴリズムが含まれていることを確認してください。

HPE OneView が SSH 情報を取得できない

症状

リモートサーバーの公開ホストキーを生成できません。

原因

- ・ アプライアンスで公開または非公開のホストキーペアを生成するために使用されるアルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致しません。
- ・ アプライアンスでサポートされている対称暗号アルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているものと一致しません。

アクション

リモートバックアップサーバーで構成されている暗号と `HostKeyAlgorithms` に、**HPE OneView ヘルプ**の「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目に一覧表示されているサポートされているアルゴリズムリストにあるアルゴリズムが含まれていることを確認します。

HPE OneView がリモートバックアップ構成を確認できない

症状

リモートバックアップ構成の検証に失敗し、ファイル転送プロトコルのエラーメッセージが表示されません。

原因

アプライアンスで各メッセージのハッシュをメッセージ認証コードに変換するために使用可能なアルゴリズムが、リモートバックアップサーバーでサポートされているアルゴリズムのリストと一致していません。

アクション

リモートバックアップサーバーに構成されている MAC に、[サポートされているアルゴリズム]リストのアルゴリズムが含まれていることを確認してください。

HPE OneView ダッシュボードにアイコンが表示されない

症状

ダッシュボードのアイコンが表示されません。

原因

ブラウザがアイコンをロードする前にタイムアウトが発生しました。

アクション

1. ブラウザーを更新するか、再ロードします。
2. アプライアンスがネットワークにアクセスできることを確認します。

無効な証明書チェーンによって操作ができない

症状

リモートアプライアンスの証明書チェーンが破損した。

アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者として、アプライアンス用の新しい証明書を作成または取得します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アプライアンス証明書署名リクエストの作成」を参照してください。
3. 新しい署名要求を生成します。

HPE OneView で証明書の内容が無効で処理ができない

原因

証明書のフォーマットが無効である。



アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者として、有効なフォーマットを使用して新しいアプライアンスを作成または取得します。詳しくは、「証明書署名要求の作成」トピックまたは [HPE OneView ヘルプ](#) の「自己署名証明書の作成」を参照してください。
3. 新しい証明書をインポートしてください。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#) の「アプライアンス証明書のインポート」トピックを参照してください。

ログイン画面が表示されない

症状

ログイン画面がないか、ログイン画面はあるが、アプライアンスがログインを拒否している

解決方法 1

原因

アプライアンスがまだ起動していないか、ブラウザが正しく動作していない。

アクション

1. アプライアンスが完全に起動するまで待ちます。
2. ブラウザーを更新して、再試行します。
3. 新しいブラウザを開いて、再試行します。
4. インフラストラクチャ管理者として、REST API を使用してアプライアンスを再起動します。

解決方法 2

原因

ローカルユーザーアカウントの認証が無効です。

アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力します。
2. インフラストラクチャ管理者に、ログイン名と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
 - a. アカウント名を確認し、ユーザーに役割が割り当てられていることを確認します。
 - b. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

解決方法 3

原因

認証ディレクトリサービスの認証が無効です。

アクション

1. 間違えた場合は、ログイン名とパスワードを再入力し、正しい認証ディレクトリを選択します。
2. インフラストラクチャ管理者にログイン名と、グループ設定と役割設定を確認します。アプライアンスが元の工場出荷時設定にリセットされた場合、インフラストラクチャ管理者がユーザーを復権させる必要が生じることがあります。
3. インフラストラクチャ管理者として、次の操作を実行します。
 - a. アカウント名を確認し、ユーザーがディレクトリサービス内のグループのメンバーであることを確認します。
 - b. 認証ディレクトリサービスが正しく構成されていることを確認します。
 - c. ディレクトリサービスサーバーが動作していることを確認します。 ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できないを参照してください。
 - d. ディレクトリサービスホスト証明書が有効であることを確認します。有効でなければ、証明書を再取得してインストールします。
 - e. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。
 - f. アプライアンスを再起動し、もう一度やり直してください。

公開 SSH ホストキーが現在の暗号化設定と互換性がない

症状

SSH 公開ホストキーに互換性がないため、リモートバックアップ構成を適用できない。

原因

- ・ リモートバックアップサーバーのアルゴリズムを使用して生成された公開キーは、現在のセキュリティモードのアプライアンスでは脆弱です。この例には、FIPS モードや CNSA モードの DSA キーなどがあります。各 HPE OneView リリースのサポート暗号化アルゴリズムをリストしている HPE OneView ヘルプの「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目を参照してください。
- ・ RSA キーの長さが不十分です。この例には、RSA 2048 ビットに対して RSA 1024 ビットが生成されている場合などがあります。

一部のプログラム（CompleteFTP など）による 2048 ビットキーの生成により、2047 ビットキーが生成される場合があります。

アクション

十分な強度と長さの公開キーまたは秘密キーのペアをリモートバックアップサーバーにインストールし、リモートバックアップの場所を構成するときにその公開キーを貼り付けて（または 4.2 以降では検出して）ください。

iLO が適切に動作するようにリモートコンソールを再インストールする

症状

Windows クライアントで Firefox または Chrome を実行しているときは、iLO リモートコンソールの初回のインストールにより、インストールダイアログボックスが再度表示されることがなくなります。コンソールソフトウェアを再インストールする必要がある場合は、インストールダイアログボックスをリセットする必要があります。インストールダイアログボックスが表示されない。

原因

iLO リモートコンソールソフトウェアのインストールに使用したブラウザ（Firefox または Chrome）とは異なるブラウザを使用中の場合は、ソフトウェアがすでにインストールされていても、ソフトウェアをインストールするよう求めるダイアログボックスが表示されます。

アクション

1. コンソールを再インストールするには、**Shift** キーを押し、**アクション > コンソールの起動**を選択します。
2. ソフトウェアを再インストールするには、**ソフトウェアのインストール**をクリックし、アプリケーションのインストールのためのダイアログボックスをすべて閉じます。
3. インストール完了 — **コンソールの起動**をクリックして、インストール後にコンソールを起動します。

HPE OneView のリストア操作に失敗した

症状

リストア操作と工場出荷時設定へのリセット操作が失敗したため、アプライアンスは再起動できませんでした。

解決方法 1

原因

バックアップファイルに互換性がない。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 次の条件を満たす最新のバックアップファイルを使用してリストア操作を再試行してください。
リストア中のアプライアンスの HPE OneView メジャーおよびマイナーのバージョン番号が、バックアップファイルが作成されたアプライアンスと同じであること。設定画面には、次の形式でバージョン番号が表示されます。

バージョンメジャー.マイナー.nn-nnnnnn 月一日一年

3. リストア操作で自動的に解決できなかった不整合を調整します。

解決方法 2

原因

重大なエラーが発生した。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 可能であれば、アプライアンスを工場出荷時設定にリセットします。
4. リストア操作を再試行します。

解決方法 3

原因

リストア操作が失敗する。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 認定サポート担当者にお問い合わせいただく必要がある場合、サポートダンプファイルを作成します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
 - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
 - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。
4. 問題が解決しない場合は、認定サポート担当者にお問い合わせください。

解決方法 4

原因

リストア操作のステータスは、進行中だが、変化の比率 (%) が 2.5 時間以上変更されません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. アプライアンスを再起動します。
3. 以下のいずれかまたは両方の操作を行います。
 - ・ 最新のバックアップファイルを指定して、リストア操作を再試行します。
 - ・ アプライアンスと互換性のある別のバックアップファイルでリストア操作を行います。

リモートバックアップサーバーの SSH ホスト公開キーが無効である

症状

手動で入力した SSH ホスト公開キーが無効であるため、リモートバックアップ構成を確認できません。

原因

SSH ホストキーフィールドにキーを切り取って貼り付ける際にエラーがありました。

アクション

1. フィールドに切り取って貼り付けるときに、改行を含めていないことを確認してください。
2. 操作を再試行するか、別のキーを使用します。
3. ユーティリティを使用して、リモートバックアップサーバーからホストキーを取得します。
 - a. `openssh` には、ほとんどの Linux ディストリビューションで一般的に見られるホストキーをキャプチャーするユーティリティがあります。
 - b. `ssh-keyscan <host>` コマンドにより、使用可能な SSH ホストキーが表示されます。
 - c. **HPE OneView ヘルプ**の「HPE OneView とバックアップサーバー間のセキュアな接続のための暗号」項目に従って、サポートされている適切なアルゴリズムと長さを選択します。
 - d. リモートバックアップサーバーの管理者にホストキー指紋を確認します。

HPE OneView のサポートダンプファイルが保存されていない

症状

アプライアンスにサポートダンプファイルがない。

解決方法 1

原因

ブラウザの設定が正しく設定されていない場合、自動ダウンロードの通知を見逃す可能性があります。

アクション

1. ダウンロードが完了したことを確認します。
2. 対応する **HPE OneView サポートマトリックス**を参照して、ご使用のアプライアンスのブラウザの要件を確認してください。
3. サポートダンプの作成操作を再実行し、アクティビティサイドバーでダウンロードの進行状況バーを調べます。

詳しくは、**HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用**の「設定：アプライアンス」のセクションを参照してください。

解決方法 2

原因

サポートダンプファイルに十分なディスク領域がクライアント側にありません。

アクション

1. ローカルコンピューターに、サポートダンプファイルを収容できる十分なディスクスペースがあることを確認します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)の「設定 : アプライアンス」のセクションを参照してください。

2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

解決方法 3

原因

サポートダンプファイルを使用できない。

アクション

1. クリーンアップしてシステム内のスペースを確保します。
2. ブラウザー設定で複数のファイルのダウンロードを有効にします。
3. サポートダンプの作成をもう一度試して、サポートダンプを確認します。

HPE OneView のサポートダンプが作成されない

症状

想定したサポートダンプが見つからない

解決方法 1

原因

経過時間が不十分

アクション

1. しばらく待ちます。サポートダンプファイルの作成には、数分かかる場合があります。ログファイルが大きい場合、またはシステムが大規模の場合、サポートダンプファイルの作成にかかる時間はさらに長くなります。

2. サポートダンプの作成操作を再試行してください。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンス」のセクションを参照してください。

解決方法 2

原因

アプライアンスのエラー画面からサポートダンプファイルを作成できるのはインフラストラクチャ管理者のみです。

アクション

インフラストラクチャ管理者の認証情報を指定し、再度実行してください。

CA 署名付きクライアント証明書を使用して SCMB サーバーに接続できない

症状

CA 署名付きクライアント証明書を作成した後も、SCMB サーバーへの接続を確立できない。

解決方法 1

原因

クライアント証明書は、アプライアンスによって信頼されている認証機関（CA）によって署名されていません。

アクション

1. `openssl verify -verbose -CAfile ca.pem cert.pem` コマンドを使用して、クライアント証明書に署名した CA を確認します。
2. **設定>セキュリティ**にアクセスして、信頼済み CA のリストをチェックすることで、一覧表示されている CA ルートおよび中間証明書がアプライアンスによって信頼されていることを確認します。
3. クライアント証明書への署名に使用した CA が存在しない場合、その CA を HPE OneView に追加します。

解決方法 2

原因

SCMB サーバー証明書への署名に使用したルート CA 証明書または中間 CA 証明書が、クライアントが使用する CA 証明書ファイルに含まれていない。

アクション

クライアントが使用する CA 証明書ファイルに、SCMB サーバー証明書に署名したルート証明書および中間 CA 証明書が含まれていることを確認します。

解決方法 3

原因

クライアント証明書への署名に使用した中間 CA 証明書が、クライアントが使用する CA 証明書ファイルに含まれていない。



アクション

クライアントが使用する CA 証明書ファイルに、クライアント証明書に署名した中間 CA 証明書が含まれていることを確認します。

解決方法 4

原因

クライアント証明書が、`rabbitmq_readonly` 以外の共通名を使用する。

アクション

1. 証明書の属性を表示するには、`openssl x509 -noout -text -in cert.pem` コマンドを使用します。
2. クライアント証明書に `rabbitmq_readonly` 以外の共通名が使用されている場合、新しいクライアント証明書を作成します。SCMB サーバーはこのユーザーからの接続を受け入れるように構成されているため、クライアント証明書の共通名は `rabbitmq_readonly` に設定する必要があります。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「SCMB 用の CA 署名済みクライアント証明書の作成」トピックを参照してください。

解決方法 5

原因

CA チェーンに、ルート CA を含めず 9 を超える中間証明書が含まれている（ルート CA > 中間 1 > 中間 2 > ... > 中間 8 > 中間 9）。

アクション

HPE OneView がサポートできるのは、最大 9 レベルの CA チェーンだけです。9 より少ないレベルが含まれるように、CA チェーンの最小レベルを切り取ります。

証明書失効リストを自動的にダウンロードできない

症状

LDAP CRL 配布ポイント (DP) の証明書失効リスト (CRL) のダウンロードに失敗する。

解決方法 1

原因

LDAP CRL DP が有効なホスト名または IP アドレスを指定していません。

例: `ldap:/// CN = ...`



アクション

認証機関の管理者は、証明書に署名するときに、証明書の CRL DP にホスト名または IP アドレスが含まれていることを確認する必要があります。

解決方法 2

原因

問題の内容

プロキシの問題により、CRL のダウンロードに失敗しました。

原因

プロキシがアプライアンスで構成されていないか、または正しく構成されていません。

アクション

プロキシがアプライアンスで正しく構成されていることを確認してください。

証明書をインポートできない

症状

アプライアンスで、証明書のインポート操作が許可されない、または受け入れられない。

解決方法 1

原因

お使いのログインアカウントでは証明書をインポートする権限が与えられません。

アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
3. 操作を再実行してください。

解決方法 2

原因

アプライアンスとブラウザーとの接続が失われた。

アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. ネットワークが正常に動作しているか確認します。
3. Web サーバーが再起動するまで待ち、操作を再実行してください。

メインメニューにすべてのリソースを表示できない

原因

- ・ 役割ベースのユーザー権限では、メインメニューで一部のリソースにアクセスできません。
- ・ ガイド付きセットアップは、いくつかのリソースを非表示にするように設定されています。

アクション

1. メインメニューの**すべて表示**をクリックすると、現在のセッションでのみ非表示のメニュー項目が表示されます。
2. **ガイド付きセットアップ > OneView 環境のカスタマイズ**に進み、メインメニューに表示するリソースを選択します。

予期しないアプライアンスのシャットダウン

症状

アプライアンスがクラッシュする

原因

計画外のシャットダウン

アクション

1. 予期しないシャットダウンはまれです。重大なアラートや失敗したタスクをチェックします。解決策が提示される場合は、その指示に従ってください。
2. 表示されるリソース情報が正しくない、または一貫していないと思われる場合は、手動でリソースを更新します（**アクション > 更新**）。
3. 認定サポート担当者が問題のトラブルシューティングを行う際に役立つよう、予期しないシャットダウンについてのサポートダンプファイルを作成します（**設定 > アクション > サポートダンプの作成**）。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「**設定：アプライアンス**」のセクションを参照してください。

アプライアンスネットワークのセットアップのトラブルシューティング

- ・ アプライアンスがネットワークにアクセスできない
- ・ アプライアンスは DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない
- ・ ネットワーク設定を変更できない
- ・ DNS サーバーは到達不能
- ・ HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない
- ・ アプライアンス IP 設定が正しくない
- ・ HPE OneView で NTP 同期に失敗する

- ・ IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない
- ・ アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する

アプライアンスがネットワークにアクセスできない

症状

ネットワークアクセスを必要とする操作が機能しない。

原因

アプライアンスネットワークが正しく構成されていませんでした。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. IP アドレス割り当てが正しいことを確認します。
3. DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
4. DNS サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更します。
5. DNS サーバーが動作していることを確認します。
6. ネットワークのゲートウェイアドレスが正しいことを確認します。
7. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスコンソールにログインし、ネットワーク設定を修正します。

アプライアンスは DHCP サーバーから DNS 情報を取得できない

症状

DHCP サーバーが IP アドレスへのアクセスを提供しない。

原因

DNS または DHCP サーバーが正しく構成されていません。

アクション

1. 各 DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
2. DNS サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。
背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
3. DNS サーバーが動作していることを確認します。
4. 仮想アプライアンスコンソールを使用して、DHCP サーバーが正しく構成されていることを確認します。
5. 必要に応じて、DHCP の代わりに静的アドレス割り当てを使用します。



ネットワーク設定を変更できない

症状

ネットワーク設定を変更できない。

原因

権限が適切でない

アクション

1. 可能であれば、特権ユーザーとしてログインします。可能でない場合は、ネットワーク設定を変更できる役割に変更するように、インフラストラクチャ管理者に要求します。
2. 再度ログインします。
3. ネットワーク設定を変更します。

DNS サーバーは到達不能

症状

警告メッセージは *IP アドレス* が DNS サーバーとして応答していないことを報告する。

アクション

必要な権限：インフラストラクチャ管理者

1. 各 DNS IP アドレスが正しいことを確認します。
2. DNS サーバーが動作していることを確認します。
3. DNS サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。
背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
4. 状況に応じてネットワーク設定を変更します。

HPE OneView からゲートウェイサーバーに到達できない

症状

警告メッセージで、*IP アドレス* が有効なゲートウェイでないと報告される。

アクション

1. 必要な権限：インフラストラクチャ管理者
2. ネットワークのゲートウェイアドレスを確認します。
3. ゲートウェイサーバーが動作していることを確認します。
4. 状況に応じてネットワーク設定を変更します。



アプライアンス IP 設定が正しくない

症状

HPE OneView でアプライアンス IP 設定が正しくないため、アプライアンス IP に到達できない。

原因

HPE OneView のアプライアンス IP 設定が正しく構成されていません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、仮想アプライアンスコンソールにアクセスし、HPE OneView にログインします。
2. **設定 > ネットワーク > 編集**の順に移動し、アプライアンスの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。
3. それに応じて IP アドレス設定を変更します。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ](#)にある「アプライアンスネットワーク設定」のトピック。
- ・ [HPE OneView ヘルプ](#)にある「アプライアンスネットワーク設定の変更」のトピック。

HPE OneView で NTP 同期に失敗する

症状

アプライアンスの日時の設定が、NTP サーバーと一致しない。

解決方法 1

原因

アプライアンスが NTP 用に正しく構成されていない。アプライアンスの構成にエラーが含まれています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、指定したホスト名または IP アドレスが NTP サーバーであることを確認します。
2. 設定画面の**アプライアンスパネル**をチェックして、NTP サーバーの IP アドレスが正しいことを確認します。
3. NTP サーバーがファイアウォールの背後にないことを確認します。
4. 背後にある場合は、ファイアウォール設定を変更する必要があります。
5. NTP サーバーが動作し、通信していることを確認します。
6. アプライアンスクロックを NTP サーバーと同期化します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
7. アプライアンスと NTP サーバーが同期するのに十分な時間を与えてください。グローバルな NTP サーバーの場合、この値は 1 時間ほどになり得ます。

解決方法 2

原因

アプライアンスと NTP サーバーの時刻の差が、1000 秒を超えている。アプライアンスが NTP サーバーと同期できません。

アクション

1. アプライアンスの時刻とロケールの設定を編集します。
2. 仮想アプライアンスの場合はアプライアンスを VM ホストと同期し、アプライアンスの時刻を、VM ホストによる現在の時刻に同期させます。
3. 物理アプライアンスでは、アプライアンスの時刻を手動で設定します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
4. アプライアンスによる時刻が、NTP サーバーの時刻と一致していることを確認します。
5. アプライアンスを NTP サーバーと同期します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
6. アプライアンスと NTP サーバーが同期するのに十分な時間を与えてください。この値は 10 分ほどになり得ます。

IPv6 アドレスのみを使用するデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない

症状

IPv6 アドレスのみを持つデバイスで、一部のタスクとデバイス監視が機能しない。

原因

HPE OneView アプライアンスは、アプライアンスに IPv6 アドレスがある場合でも、IPv4 アドレスで構成されています。IPv6 アドレスのみを使用してデバイスを管理できる唯一の方法は、アプライアンスを IPv6 ネットワークモードで構成することです。

アクション

1. 管理対象デバイスに IPv4 アドレスを追加するか、デバイスを HPE OneView アプライアンスによって IPv6 モードで管理させます。

詳細情報

[HPE OneView インストールガイド](#)の「HPE OneView アプライアンスのネットワークモード」トピック

アプライアンスが IPv6 モードの場合に、タスクが失敗する

症状

アプライアンスでは、最初に IPv4 アドレスを HPE OneView に入力できますが、タスクはエラーメッセージを出して失敗します。

原因

HPE OneView は、IPv6 用に構成されていると、IPv4 ネットワーク上のデバイス間の通信を送受信できません。

アクション

1. アプライアンスが IPv6 用にのみ構成されている場合は、管理対象リソースが IPv6 アドレスを使用していることを確認してください。

詳細情報

[HPE OneView インストールガイド](#)の「HPE OneView アプライアンスのネットワークモード」トピック

暗号化モードの切り替えのトラブルシューティング

- ・ アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する
- ・ 暗号化モード切り替え中にセッションが終了する
- ・ FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない
- ・ CNSA モードに切り替えることができない

アップグレード後に FIPS または CNSA へのモード切り替えが失敗する

症状

HPE OneView バージョン 2.3 からバージョン 4.0 にアップグレードされたアプライアンスで、Federal Information Processing Standard (FIPS) -140-2 または Commercial National Security Algorithm (CNSA) への暗号化モード切り替えが失敗する。

原因

アップグレードされた HPE OneView 4.0 バージョンは、FIPS 140-2 または CNSA モードに準拠していない HPE OneView バージョン 2.3 から引き継いだ SHA1 証明機関 (CA) 署名の証明書を使用している可能性があります。

アクション

FIPS へのモード切り替えを実行する前に、SHA-256 アルゴリズムを使用して外部の CA 署名の証明書をインポートします。CNSA モードに切り替える場合は、CNSA モードに準拠する SHA-384 アルゴリズムで署名された証明書をインポートします。

暗号化モード切り替え中にセッションが終了する

症状

モードの切り替え中にユーザーセッションが終了する。

原因

これは、より安全なユーザーセッショントークンを提供するために、モード切り替え操作の一部として予期される動作です。

アクション

アプライアンスは、モード切り替えが完了した後に再起動を開始します。再起動後、認証情報でアプライアンスにログインします。

FIPS モードまたはレガシーモードへの切り替え後にデバイスを管理できない

症状

CNSA モードからレガシーまたは FIPS モードへの切り替え後に、強度が低い証明書をホストするデバイスと通信できない。

原因

暗号化モードを強度が高いモードから低いモードにダウングレードすると、アプライアンスは、ダウングレードしたモードでより高い強度の証明書をホストし続けます。たとえば、CNSA モードは SHA384 証明書を使用します。CNSA から FIPS にモードを切り替えると、アプライアンスは、同じ SHA384 証明書をホストし続けます。

アクション

強度が低い暗号化モードに準拠している低い強度の証明書をアプライアンスで再生成またはインポートします。

CNSA モードに切り替えることができない

症状

アプライアンス上で CNSA (Commercial National Security Algorithm) モードに切り替えることができない。

原因

アプライアンスは、CNSA モードに必要な強度よりも低い認証機関 (CA) 署名付き証明書を使用している可能性があります。

アクション

CNSA へのモード切り替えを試行する前に、SHA-384 認証機関署名付き証明書をインポートします。

メール通知のトラブルシューティング

以下の情報を使用して、設定画面の通知パネルに表示されるアラートのトラブルシューティングを行います。

- ・ アップデート後にメールによるアラート通知が届かない
- ・ HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない
- ・ 指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない
- ・ 頻繁で無関係なメールメッセージ
- ・ ホストが SMTP サーバーとして応答しない
- ・ 一部のテストメッセージが受信されていない

- ・ テストメッセージを送信できなかった
- ・ HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない
- ・ 一部のメール ID にメールメッセージを配信できない
- ・ HPE OneView からメール通知を受信できない
- ・ 非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した

アップデート後にメールによるアラート通知が届かない

症状

アップデート後、一部のリソースに対するメールによるアラート通知が届きません。

原因

メール通知フィルターにはスコープのコンポーネントが含まれており、一部のリソースにスコープが割り当てられなくなりました。これが発生する可能性があるのは、ユーザーがスコープからリソースを削除した場合、またはスコープの制限が新たに有効になったカテゴリ内にリソースが含まれた場合です。スコープ制限が有効になっていないカテゴリ内のリソースは、すべてのスコープに自動的に含まれないため、リソースカテゴリのスコープ制限を追加すると、アップデート時にすべてのスコープから暗黙的にリソースが削除されることとなります。

アクション

1. スコープ制限が有効になっているリソースカテゴリを確認します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「パーミッション」トピックを参照してください。
2. これらのカテゴリの目的のリソースが、メール通知フィルターで使用されるスコープに割り当てられていることを確認します。
3. スコープの制限が有効でないリソースが暗黙的に含まれないようにするため、スコープコンポーネントを含むメール通知フィルターに関連付けられたリソースカテゴリを指定します。

HPE OneView のアラートのメール通知を構成できない

症状

アラート機能のメール通知を構成できない。

原因

この機能を使用するのに必要なパーミッションがありません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. メール受信者とフィルターのエントリーを追加または編集します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。
3. メール受信者を追加または編集し、エントリーを正常にフィルタリングできたことを確認します。受信者はパネルに表示されます。

指定の受信者がイベントのメール通知を受信していない

症状

構成した受信者がアラートのメール通知を受信していない。

解決方法 1

原因

現在、メール通知が無効になっている。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、構成パラメーターを表示します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アラートのメール通知を実行するアプライアンスの構成」を参照してください。
2. メール通知機能が有効になっていることを確認します。
3. 各メール受信者とフィルターエントリーが適切に有効または無効になっていることを確認します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。
4. メール通知を監視して確認します。

解決方法 2

原因

受信者のパラメーターが正しく構成されていないため、受信者はメールメッセージを受信できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、構成パラメーターを表示できるようにします。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「アラートのメール通知を実行するアプライアンスの構成」を参照してください。
2. 受信者が指定されていて、そのメールアドレスが有効であることを確認します。
3. 受信者が指定されていない場合は、適宜、次のいずれかを実行します。
これらの手順については、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
 - a. 受信者およびフィルターのエントリーを編集して、既存のフィルターのメールアドレスのリストに受信者を含めます。
 - b. 新しいフィルターに受信者を追加します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定：通知」のセクションを参照してください。
4. メール通知を監視して確認します。

解決方法 3

原因

メール受信者の構成に、通知のアラートをキャプチャーしない無効なフィルター指定が含まれます。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、**HPE OneView ヘルプ**にあるメール受信者を編集するための手順に従って、フィルターのエントリーを表示します。
2. アクティビティ画面で報告されるアラートを調べ、フィルターによってキャプチャされている必要があると考えるアラートに注目します。
詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**のトピック「アクティビティの表示」を参照してください。
3. フィルターのエントリーを確認します。
フィルターが的確かつ正確に定義されていることを確認します。
4. メール受信者とフィルターのエントリーを保存します。
5. メール通知を監視して構成を確認します。

HPE OneView からの頻繁で無関係なメールメッセージ

症状

特定の受信者に、その受信者には関係がないメールメッセージが送信される。

原因

メール受信者の構成に、不要で無関係なアラートを許可するフィルター指定が含まれています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、オンラインヘルプにあるメール受信者を編集するための手順に従って、フィルターのエントリーを表示します。
2. フィルターのエントリーを確認します。
 - a. 空のフィルターのエントリーがないことを確認します。フィルターのエントリーが空である場合、すべてのアラートに対してメールメッセージが生成されます。
 - b. フィルターのエントリーが一意であることを確認します。そうでない場合、少なくとも2倍の数のメッセージが送信されます。
 - c. フィルターの条件は的確に指定します。フィルターのエントリーを編集して、通知を受けたいアラートに対してのみ動作するようにします。
3. メール受信者とフィルターのエントリーを保存します。
4. メール通知を監視して構成を確認します。

ホストが SMTP サーバーとして HPE OneView に応答しない

症状

メールメッセージの送信を行うはずのホスト名が SMTP サーバーとして応答しない。

解決方法 1

原因

ホスト名が正しく構成されませんでした。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。

2. 使用されるポート番号が正しいことを確認します。
3. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
4. 必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
5. 構成を保存します。
6. telnet コマンドで、構成を確認します。例 :

```
telnet mail.example.com 25
```

7. メール通知を監視することによっても確認します。

解決方法 2

原因

メール通知の送信に使用される SMTP サーバーが、TLS/SSL セキュリティプロトコルを使用しています。

アクション

1. telnet コマンドで正しいポートを使用して、SMTP サーバーへの接続を確認します。例 :

```
telnet mail.example.com 587
```

2. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
3. SMTP サーバーが TLS/SSL をサポートしていないことを確認します。
必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
4. 構成を保存します。
5. telnet コマンドで、構成を確認します。例 :

```
telnet mail.example.com 25
```

6. メール通知を監視することによっても確認します。

解決方法 3

原因

メール通知の構成で、無効な SMTP サーバーのパスワードが指定されています。正しい認証情報の提供に失敗したため、メールを送信することができません。

アクション

1. SMTP サーバーに接続してパスワードを確認するには、telnet コマンドを使用します。例 :

```
telnet mail.example.com
```

2. アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
3. SMTP サーバーのパスワードが正しいことを確認します。
必要に応じてメールのパラメーターをアップデートします。
4. 構成を保存します。
5. メール通知を監視して確認します。

HPE OneView からの一部のテストメッセージが受信されていない

症状

一部の受信者はテストメッセージを受信するのに、他の受信者は同じメッセージを受信しない。

解決方法 1

原因

受信者が、構成されていないか、正しく構成されていません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、受信者を表示してエントリーを絞り込めるように、オンラインヘルプにあるメール受信者を編集するための手順に従います。
2. 受信者が指定されていることを確認します。
必要に応じてエントリーを修正します。
3. 各受信者のメールアドレスが有効であることを確認します。
必要に応じてエントリーを修正します。
4. 別のテストメッセージを送信して確認します。

解決方法 2

原因

テストメッセージが迷惑メールまたはスパムと見なされているため、フィルタリングされて配信されませんでした。

アクション

1. メールを送信しているホストと受信者が同じドメイン内の場合は、受信者のメールアプリケーションを調べます。
2. メールアプリケーションがメッセージをブロックしていないこと、およびメッセージをスパムとして扱ったり、迷惑メールフォルダーに送信したりしていないことを確認します。
3. 別のテストメッセージを送信して確認します。

HPE OneView からテストメッセージを送信できなかった

症状

テストメッセージが送信されたが、どの受信者もそのメッセージを受信しなかった。

解決方法 1

原因

メール通知を構成するためのパラメーターが 1 つ以上無効なため、メールの送信に使用されるホストにアプライアンスが到達できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、アラートのメール通知を構成するためのパラメーターを表示します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)を参照してください。
2. 無効な構成のすべてのパラメーターを訂正します。
3. 構成を保存します。
4. ホストに対して ping を実行するか、テストメッセージを再度送信して、構成を確認します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。

解決方法 2

原因

アプライアンスでネットワークの問題が発生していて、アプライアンスがメールメッセージを送信できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。
詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「設定 : アプライアンスのネットワーク」のセクションを参照してください。
2. ネットワークとの接続の問題を解決するには、[HPE OneView インストールガイドアプライアンスがネットワークにアクセスできないの「](#)

HPE OneView でメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない

症状

アプライアンスがメールアドレスホスト名の送信を通じて接続できない。アプライアンスが、構成されているメールアドレスを使用してアラートメッセージを送信できない。

解決方法 1

原因

メール通知を構成するためのパラメーターが 1 つ以上無効なため、メールの送信に使用されるホストにアプライアンスが到達できません。



アクション

1. 無効な構成のすべてのパラメーターを訂正します。
2. 構成を保存します。

解決方法 2

原因

アプライアンスでネットワークの問題が発生していて、アプライアンスがメールメッセージを送信できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、ホストに ping を送信し、送信側メールアドレスのホスト名がネットワーク上にあることを確認します。
2. ネットワークとの接続の問題を解決するには、「アプライアンスがネットワークにアクセスできない」を参照してください。

詳細情報

アプライアンスがネットワークにアクセスできない

HPE OneView から一部のメール ID にメールメッセージを配信できない

症状

一部のユーザーはアラートに関するメールメッセージを受信するのに、他のユーザーは同じメッセージを受信しない。

解決方法 1

原因

受信者が、構成されていないか、正しく構成されていません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者として、受信者を表示してエントリーを絞り込めるように、**HPE OneView ヘルプ**にあるメール受信者を編集するための手順に従います。
2. 受信者が指定されていることを確認します。
必要に応じてエントリーを修正します。
3. 各受信者のメールアドレスが有効であることを確認します。
必要に応じてエントリーを修正します。
4. メール通知を監視して確認します。

解決方法 2

原因

メールメッセージが迷惑メールまたはスパムと見なされているため、フィルタリングされて配信されません。

アクション

1. メールを送信しているホストと受信者が同じドメイン内の場合は、受信者のメールアプリケーションを調べます。
2. メールアプリケーションがメッセージをブロックしていないこと、およびメッセージをスパムとして扱ったり、迷惑メールフォルダーに送信したりしていないことを確認します。
3. メール通知を監視して確認します。

HPE OneView からメール通知を受信できない

症状

メールサーバーが、HPE OneView からメール通知を受信できません。

原因

HPE OneView アプライアンスの IP アドレスが、有効な送信者または信頼できる送信者としてメールサーバーに追加されていません。

アクション

HPE OneView IP アドレスを SMTP サーバーのホワइटリストに追加します。

たとえば、Microsoft SMTP サーバーでは、ホワइटリストは **IP 許可リスト**と呼ばれています。

HPE OneView で非スコープリソースから予期しないアラート通知を受信した

症状

非スコープリソースによって生成されたアラートに関する予期しないメール通知を受信した。

原因

メール通知フィルターはスコープを指定していますが、スコープ内のリソースタイプに対して適切なリソースカテゴリを指定していません。

アクション

リソースカテゴリごとに関連付けられているリソースカテゴリを 1 つのスコープに含めるようにメール通知フィルターを編集します。

エンクロージャーとエンクロージャーグループのトラブルシューティング

- ・ ミッドプレーンの交換後に、既存のエンクロージャーが新しいエンクロージャーとして検出される
- ・ 無効な Onboard Administrator 証明書
- ・ エンクロージャーの移行が完了しなかった
- ・ c7000 エンクロージャーを追加できない
- ・ c7000 エンクロージャーを強制的に追加できない



- ・ VCM エンクロージャーを移行できない
- ・ c7000 エンクロージャーを削除できない
- ・ エンクロージャーの追加または削除の際に、Onboard Administrator のシングルサインオン (SSO) の構成を解除できない
- ・ 未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できない

ミッドプレーンの交換後に、既存のエンクロージャーが新しいエンクロージャーとして検出される

症状

エンクロージャーミッドプレーンの交換後に既存のエンクロージャーが検出された。

原因

エンクロージャーミッドプレーンを交換しましたが、ハードウェアのドキュメントに記載されている推奨の手順に従いませんでした。

アクション

推奨手順に従って、エンクロージャーミッドプレーンを交換します。

推奨 : [HPE OneView ヘルプ](#) 「のエンクロージャーの追加」トピックを参照してください。

無効な Onboard Administrator 証明書

症状

無効な証明書メッセージが表示される。

原因

OA ファームウェアを下位バージョンにダウングレードし、その後で上位バージョンにアップグレードすると、Onboard Administrator シングルサインオン証明書が破損する場合があります。

アクション

1. OA UI から、**セキュリティ > HPESIM SSO** を選択します。
2. 破損した証明書 (黄色で示されています) を削除します。
3. 元の証明書を再インストールするには、エンクロージャーを更新します。

エンクロージャーの移行が完了しなかった

症状

エンクロージャーの移行が完了しなかったことを示すメッセージが表示される。

原因

移行が発生しましたが、HPE OneView の移行タスクが完了したと表示されません。このエラーは、移行中にアプライアンスの再起動が発生した場合に表示されることがあります。

アクション

1. アクティビティビューで移行タスクを表示し、提案された解決策に従います。
2. 問題が解決しない場合は、エンクロージャーを更新します。
3. 問題が解決しない場合は、以下の手順を実行して、移行サブステートをリセットします。

- a. アクティビティビューで移行タスクを表示し、提案された解決策に従います。
- b. 問題が解決しない場合は、エンクロージャーを更新します。

GET /rest/login-sessions

- c. 手順 1 で取得した{AUTH}トークンを使用して、次のコマンドを入力します。

```
curl -ik -X PATCH -H "Content-Type:application/json" -H "X-API-Version:300" -H "auth:${AUTH}" -d '{"op":"replace","path":"/migrationState","value":"NotApplicable"}
```

c7000 エンクロージャーを追加できない

症状

c7000 エンクロージャーを追加できない

原因

アクション

1. c7000 エンクロージャーの追加が失敗すると、通知パネルに、追加操作が失敗した理由と、問題の解決策が表示されます。たいていの場合、解決策は、メッセージに埋め込まれている**追加リンク**をクリックすることです。追加操作によりすべてのコンポーネントが再検出され、エンクロージャーの情報がアップデートされます。
2. エンクロージャーがすでに他の管理ソフトウェアによって管理されていて、そのソフトウェアによって獲得される。エンクロージャーの初めての追加が失敗した場合は、HPE OneView のオンラインヘルプの「エンクロージャーの追加」トピックにリストされている、エンクロージャーの内容を管理するためのエンクロージャーの前提条件を満たしていることを確認します。画面上の入力したデータが正しいことを確認し、操作を再度実行します。
3. エンクロージャーを正常に追加するためにとる必要のある修正処置については、通知パネルのガイダンスに従ってください。
エンクロージャー、そのサーバー、またはインターコネクトモジュールに関するすべての情報を取得できない場合は、追加操作中にエラーが発生する可能性があります。エラーが発生すると、問題の説明と、問題の原因となったコンポーネント（エンクロージャー、サーバー、インターコネクト）が通知パネルに表示されます。
4. エンクロージャーを再追加するには、通知メッセージパネル（ある場合）の**追加リンク**をクリックするか、エンクロージャーの Onboard Administrator のアドレスと認証情報を入力して、**エンクロージャーの追加画面**から追加操作を再度開始します。エンクロージャーをアプライアンスに強制的に追加するには、エンクロージャーについて HPE OneView のオンラインヘルプの「現在別の管理システムによって管理されている c7000 エンクロージャーの獲得」トピックを参照してください。

c7000 エンクロージャーを強制的に追加できない

症状

c7000 エンクロージャーを強制的に追加しようとして失敗した後、エラーメッセージが表示された。

原因

不明。

アクション

1. c7000 エンクロージャーを強制的に追加しましたが、エラーメッセージを受け取りました。これは、VCMode セットがあり、Virtual Connect (VC) がエンクロージャーを管理している場合に発生します。構成の手動クリーンアップが必要です。以下の項目を調査してください。
2. 管理 URL が、まだアプライアンスを指している可能性があります。その場合は、エンクロージャーの最初のインターコネクトを指すようにリセットする必要があります。これを修正するには、次の ssh コマンドを使用して Onboard Administrator に入り（管理者認証情報を使用して）、最初のアクティブな VC インターコネクトの IP アドレスを指すように管理 URL を変更します。アプライアンスからエンクロージャーの関連付けを解除します。clear vcmode : アプライアンスからエンクロージャーの関連付けを解除します。restart interconnect N。ここで、N は VC インターコネクトのベイ番号です。エンクロージャー内のすべての VC インターコネクトに対してこの手順を実行すると、インターコネクトがデフォルト構成に戻ります。ここで、N はアクティブのベイ番号です。これにより、OA が最初の VC インターコネクトから管理 URL を取得します。
3. 手動で構成した後に、エンクロージャーを更新します。
エンクロージャーの追加について詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプを参照してください。

VCM エンクロージャーを移行できない

症状

HPE OneView が VCM エンクロージャーを移行できないことを示すメッセージが表示される。

原因

エンクロージャー、そのサーバー、またはインターコネクトモジュールに関するすべての情報を取得できない場合は、追加操作中にエラーが発生する可能性があります。

エラーが発生すると、問題の説明と、問題の原因となったコンポーネント（エンクロージャー、サーバー、インターコネクト）が互換性レポートに表示されます。

アクション

1. 互換性レポートに記載されている各問題を確認し、解決策を実行します。
2. 移行を再度試みます。
3. 移行を実行できない場合は、以下の手順を実行して Virtual Connect Manager に戻ります。
 - a. 移行中に作成されたすべてのサーバープロファイルを削除します。
 - b. アプライアンスからエンクロージャーを削除します。

- c. OA UI から、最も低いベイのバーチャルコネクトインターコネクトをリセットします。
- d. VC モジュールから、工場出荷時のデフォルトの認証情報でログインして、VC 構成をバックアップファイルから復旧します。

c7000 エンクロージャーを削除できない

症状

c7000 エンクロージャーを削除できない。

原因

以下の理由により、c7000 エンクロージャーを削除できない場合があります。

削除操作中にハードウェアとの通信が切断されると、アプライアンスがインターコネクト、サーバーハードウェア、およびエンクロージャーの設定を適切に管理できなくなる可能性があります。

通信が切断されたために、アプライアンスからエンクロージャーを強制的に削除するには、エンクロージャーについて HPE OneView のオンラインヘルプの「削除操作に失敗した場合のエンクロージャーの強制的削除」トピックを参照してください。

- ・ エンクロージャーがアプライアンスから削除されていません。これは、通常はアプライアンス自体の問題であり、最良の解決方法は、通知パネルに表示される指示に従うことです。
- ・ エンクロージャーは削除されますが、通信エラーのため、構成を手動で修正する必要があります。

アクション

1. 構成の手動クリーンアップが必要な場合は、以下の項目を調査してください。
 - a. 管理 URL が、まだアプライアンスを指している可能性があります。その場合は、エンクロージャーの最初のインターコネクトを指すようにリセットする必要があります。これを修正するには、次の ssh コマンドを使用して Onboard Administrator に入り（管理者認証情報を使用して）、最初のアクティブな VC インターコネクトの IP アドレスを指すように管理 URL を変更します。restart oa では、N はアクティブのベイ番号です。これによって、OA は最初の VC インターコネクトから管理 URL を取得します。
 - b. インターコネクトが、まだアプライアンスによって獲得されている可能性があります。その場合は、インターコネクトを手動で削除する必要があります。

エンクロージャーの追加または削除の際に、Onboard Administrator のシングルサインオン（SSO）の構成を解除できない

症状

エンクロージャーの追加または削除の際に、Onboard Administrator のシングルサインオン（SSO）の構成を解除しようとして失敗した。

原因

不明。

アクション

1. 解決策: すべての証明書を削除し、OA (Onboard Administrator) を再起動します。OA ユーザーインターフェイスから、**ユーザー/認証**を選択します。
2. **HPE SSO 統合**を選択します。
3. **設定**で、信頼モードが**証明書による信頼**に設定されていることを確認します。
4. **証明書情報**タブを選択し、すべての HPE SSO 証明書を削除します。
5. OA を再起動します。
6. エンクロージャーを再追加します。

未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できない

症状

HPE OneView 移行互換性レポートは、未割り当てのサーバープロファイル接続が原因で発生した警告またはブロックの問題を示します。接続が移行されない場合、未割り当てのサーバープロファイル接続を解決する方法は、接続が未割り当てである理由と、OS 構成の影響によって異なります。以下の解決策を確認して、この問題の原因と解決方法を判別します。

解決方法 1

原因

特定のアダプターポートに関連付けられているサーバープロファイル接続の解決

未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できません。接続は特定のアダプターポートに関連付けるために VCM で作成されました。

VCM はラウンドロビンアルゴリズムで、イーサネット接続をサーバーアダプターポートに関連付けます。LOM ポートではなくメザニポートに接続をマッピングする必要がある場合は、VCM で未割り当ての接続を作成し、強制的にマッピングします。最初の 2 つの接続が未割り当てになり、次の 2 つの接続がメザニポートにマッピングされます。

HPE OneView では、サーバープロファイル接続を特定のアダプターポートに直接関連付けることができます。移行中、HPE OneView は、VCM 内のサーバーに関連付けられている特定の接続を、HPE OneView 内の特定のアダプターポートにマッピングします。未割り当ての接続は移行されないため、オペレーティングシステム内の対応するインターフェイスの削除が問題を引き起こす可能性があります。

アクション

1. VCM で、接続の種類に基づいて次のいずれかの操作を実行します。
 - a. ファイバーチャネル - OS への影響が予想されない場合、接続なしで移行を進めます。OS への影響が予想される場合は、移行後に問題を解決します。
 - b. FCoE - アップリンクポートを含むアップリンクセットがあるネットワークを割り当てます。
 - c. FCoE FC SAN およびネイティブのファイバーチャネル - アップリンクポートがある SAN ファブリックを割り当てるか、接続なしで移行を進めます。
 - d. iSCSI - サーバープロファイル接続にネットワークを割り当てるか、接続なしで移行を進めます。
 - e. イーサネット - 次のうち 1 つ以上を実行します。

ダウンリンクポートのステータスが適切でない場合は、未使用のプライベートネットワークを割り当てて、サーバー間のトラフィックをなくします。

ダウンリンクポートを無効にする必要がある場合、未使用のポートを含むアップリンクセットにプライベートネットワークを関連付けます。ネットワーク上で **Smart リンク** を有効にします。

接続が必要でない場合は接続を削除します。

解決方法 2

原因

事前割り当て済みの仮想 MAC/WWN のためのネットワークの割り当て

未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できません。接続は事前割り当て用のプレースホルダーとして VCM で作成されました。仮想 MAC/WWN の事前割り当てには、プロファイル接続に対するネットワークまたはファブリックの関連付けが必要です。

アクション

1. VCM で、接続の種類に基づいて次のいずれかの操作を実行します。

- a. FCoE - アップリンクポートを含むアップリンクセットがあるネットワークを割り当てます。
- b. FCoE FC SAN およびネイティブのファイバーチャネル - アップリンクポートがある SAN ファブリックを割り当てるか、接続なしで移行を進めます。
- c. iSCSI - サーバープロファイル接続にネットワークを割り当てるか、接続なしで移行を進めます。
- d. イーサネット - 次のうち 1 つ以上を実行します。

ダウンリンクポートのステータスが適切でない場合は、未使用のプライベートネットワークを割り当てて、サーバー間のトラフィックをなくします。

ダウンリンクポートを無効にする必要がある場合、未使用のポートを含むアップリンクセットにプライベートネットワークを関連付けます。ネットワーク上で **Smart リンク** を有効にします。

接続が必要でない場合は接続を削除します。

解決方法 3

原因

存在しないインターコネクトのために作成されたプレースホルダーを移行するための計画

未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できません。接続は垂直方向のインターコネクト間の FC または FCoE の冗長接続として VCM で作成されました。

水平方向に隣接したインターコネクトではなく、垂直方向のインターコネクトの間に FC または FCoE の冗長接続を作成した場合（たとえば、冗長性のために 2 つのアダプターを使用する場合）、VCM では、アダプターポートがインターコネクトに関連付けられていない場合でも、アダプター用の接続プレースホルダーが必要です。HPE OneView では、接続を特定のアダプターポートに直接関連付けることができるため、プレースホルダーは必要ありません。FC 接続の場合、存在しないインターコネクトへのプレースホルダー接続が検出されると、サーバーの電源ステータスに関わらず HPE OneView 互換性レポート上の警告問題になります。これは、サーバーの再起動後も、アダプターポートのために、プレースホルダー接続に関連付けられているインターフェイスが存在するためです。FCoE 接続の場合、サーバーの電源が入っているときに検出されると、互換性レポート上のブロッキング問題になります。これは、接続を削除すると、サーバーが再起動したときに OS のインターフェイスが削除される結果になることがあるためです。

アクション

1. FC SAN - 移行を進めます。
2. FCoE およびオフライン移行 - 移行後に OS への影響があるかどうか、および軽減のための計画があるかどうかを確認します。
3. FCoE および In-Service 移行 - サーバーの電源をオフにして、移行後に OS への影響があるかどうか、および軽減のための計画があるかどうかを確認します。

解決方法 4

原因

デフォルトで自動的に作成された FCoE 接続、iSCSI 接続、および FC 接続の削除

未割り当てのサーバープロファイル接続を移行できません。接続は VCM で作成されましたが、これは VCM GUI が接続を FCoE、iSCSI、および FC インターコネクトと自動的に関連付けたためです。

アクション

必要でない場合、サーバープロファイルから FCoE、iSCSI、および FC 接続を削除します。

ファームウェアアップデートのトラブルシューティング

- ・ エンクロージャー内のすべてのデバイスでのファームウェアのアップデート障害
- ・ ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない
- ・ HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない
- ・ HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとすると失敗する
- ・ [ファームウェアのみ]モードを使用したファームウェアアップデートで、ホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない
- ・ HPE OneView は Superdome Flex ファームウェアアップデートを開始できない
- ・ HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない
- ・ 認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる
- ・ iLO 接続の消失
- ・ HPE OneView で Onboard Administrator ファームウェアのアップデートに失敗した
- ・ 1つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません
- ・ Smart Update Tools を使用したファームウェアアップデート中に、適切なホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない
- ・ Superdome Flex ファームウェアアップデートが失敗し、ファームウェアバージョンの不一致が検出された
- ・ ファームウェアのダウングレード後、Superdome Flex のサーバープロファイルを作成および編集できない

- ・ ファームウェアアップデートを開始できない
- ・ HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない

エンクロージャー内のすべてのデバイスでのファームウェアのアップデート障害

症状

エンクロージャー内のすべてのデバイスでファームウェアをアップデートしようとする、一部のサーバーでアップデートプロセスが失敗することがあります。

HP SUM から結果を取得できない

原因

OA の TCP/IP 設定が自動ネゴシエートに設定されていない。

アクション

1. OA で、**エンクロージャー情報 > エンクロージャー設定 > エンクロージャー TCP/IP 設定**の順に選択します。
2. **NIC オプション**タブを選択します。
3. NIC 設定を自動ネゴシエートに設定します。
4. HPE OneView で、ファームウェアのアップデートプロセスを再試行します。
 - a. HPE OneView のメインメニューから、**エンクロージャー**を選択します。
 - b. HPE OneView のマスターウィンドウで、**エンクロージャー**を選択します。
 - c. **アクション > ファームウェアのアップデート**の順に選択します。
 - d. **ファームウェアベースライン**に対応する SPP を選択します。
 - e. **ファームウェアのアップデート**で**エンクロージャー + 論理インターコネクト + サーバープロファイル**を選択します。
 - f. **OK** をクリックします。
 - g. アクティビティが成功したことを確認するには、通知エリアで、アクティビティのステータスが緑色になっているかどうかをチェックします。
そうでない場合は、通知エリア内の詳細の下に一覧表示される解決方法の提案に従います。

ファームウェアコンプライアンスデータが利用できない

症状

ファームウェアコンプライアンスデータは特定のサーバーでは利用できません。

原因

- ・ HPE OneView はハードウェアと通信できません。
- ・ インベントリ情報の取得中に HPE OneView でエラーが発生しました。
- ・ システムのリストアは HPE OneView で行われます。

- ・ HPE OneView は、HPE Service Pack for ProLiant (SPP) がホストされているリモートレポジトリと通信できません。
- ・ コンプライアンスの確認中にエラーが発生しました。

❗ **重要:**

ファームウェアコンプライアンスレポートの生成中に発生したエラーは、対応するリソースのアラートとして報告されます。

アクション

1. リソースのアクティビティログを表示し、そのリソースでアクティブになっているクリティカルアラートまたは警告アラートを解決します。
2. ファームウェアコンプライアンスレポートを再生成する前に、サーバーハードウェアを更新してください。
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのセクション「ファームウェアコンプライアンス」を参照してください。

HPE OneView でファームウェアのステージング操作が成功しない

症状

HPE OneView でファームウェアベースラインが定義されたサーバープロファイルの作成または編集が失敗します。

原因

大量の書き込みにより、iLO レポジトリが書き込み制限に達しました。iLO レポジトリは、1 週間が経過するまで、または iLO がリセットされるまで、書き込みに使用できません。

注記: ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 から、iLO では iLO レポジトリでのブロック書き込みの繰り返しが制限されています。iLO レポジトリには、NAND フラッシュメモリの破損を防ぐことを目的とした、週ごとの書き込み制限があります。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。
 - ・ 1 週間待ってから、ファームウェアアップデートを続行します。
 - ・ 1 週間が経過する前にファームウェアアップデートを続行するには、iLO リセットを実行します。HPE OneView でサーバーを更新し、操作を再試行します。
iLO レポジトリは通常の状態に戻ります。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サーバープロファイルの作成」および「サーバープロファイルの編集」を参照してください。

HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとする と失敗する

症状

HPE OneView でファームウェアを強制的にダウングレードしようとする と失敗します。

原因

ファームウェアのダウングレードポリシーは、iLO Web UI で[ダウングレードにはリカバリセットの権限が必要です]または[ダウングレードを永遠に不許可]に設定されています。

アクション

1. ファームウェアをダウングレードする必要がある場合は、iLO Web UI でダウングレードポリシーを[ダウングレードの許可]に設定します。

詳細情報

HPE iLO ユーザーガイド

また、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「ファームウェアのダウングレード」および「iLO Web UI のファームウェアダウングレード設定」も参照してください。

[ファームウェアのみ]モードを使用したファームウェアアップデートで、ホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない

症状

ファームウェアのみモードを使用したファームウェアアップデートで、ホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されずに正常に完了します。

原因

カスタム SPP の作成時に、対応するオペレーティングシステム用のすべてのホットフィックスのバリエーションがカスタム SPP に含まれていません。

アクション

カスタム SPP を作成するとき、対応するオペレーティングシステム用のすべてのホットフィックスのバリエーション (.rpm、.exe、.fwpkg、および.zip ファイル) を含めます。

HPE OneView は Superdome Flex ファームウェアアップデートを開始できない

症状

HPE OneView では HPE Superdome Flex サーバーファームウェアアップデートを開始できません。

ファームウェアアップデート操作は失敗し、考えられる原因と解決策を示すエラーメッセージが表示されます。

解決方法 1

原因

ラックマネージャー内のすべての nPartition の電源が切れていません。

アクション

1. アップグレードする前に、ラックマネージャーのすべての nPartition の電源を切ります。
2. ファームウェアをもう一度アップデートします。

解決方法 2

原因

有効性チェック中に別の Superdome Flex ファームウェアアップデートが進行中です。

アクション

1. その他のファームウェアアップデートが完了するまでお待ちください。
2. アップデートのステータスを確認して、必要なファームウェアがインストールされているかどうかを確認してください。

解決方法 3

原因

ファームウェアレポジトリの設定中にネットワークの問題が発生したため、ラック管理コントローラー (RMC) で Superdome Flex ファームウェアバンドルのアップロードに失敗しました。

アクション

1. ネットワークが機能しているかどうかを確認してください。
2. ファームウェアをアップデートします。
3. ファームウェアバンドルのアップロードが再度失敗した場合は、RMC および内蔵ラック管理コントローラー (eRMC) を再起動してください。
4. ファームウェアをもう一度アップデートします。

解決方法 4

原因

指定された Superdome Flex ファームウェアバンドルは、ファームウェアのインストール中にラックマネージャーの 1 つ以上のハードウェアコンポーネントと互換性がありません。

アクション

1. 正しいファームウェアバンドルを使用してください。
2. 問題が続く場合は、認定テクニカルサポート担当者に連絡し、サポートダンプを提供してください。

詳細情報

- ・ [Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)
- ・ [HPE OneView サポートマトリックス](#)

[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「ラックマネージャーからの Superdome Flex ファームウェアのアップデート」も参照してください。

HPE OneView で iLO ファームウェアをアップデートできない

症状

注記: エンクロージャーを追加するときに、ネットワークや電源の停止、またはその他の問題のために、iLO ファームウェアを最小バージョンにアップデートできないことがあります。デバイスは非管理状態で表示されます。

アクション

1. メインメニューから**サーバー > サーバーハードウェア**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、管理されていないサーバーハードウェアを選択します。
3. **アクション > iLO ファームウェアのアップデート**の順に選択します。

注記: iLO ファームウェアが最小限必要なものより古い場合は、iLO ファームウェアのアップデートだけが表示され、サーバーハードウェアは非管理 サポートされていないファームウェア状態で表示されます。

4. **OK** をクリックします。
5. アクティビティが成功したことを確認するには、通知エリアで、アクティビティのステータスが緑色になっているかどうかをチェックします。

アクティビティが成功しない場合は、提案された解決策に示された指示に従ってください。

認証情報が正しくない場合、HPE OneView との通信を妨げる

症状

iLO のユーザー名またはパスワードが無効である。

原因

サーバーファームウェアをアップデートしようとしていますが、指定したユーザー名またはパスワードが iLO 管理プロセッサに対して有効でないか、誤った認証情報がサーバーに指定されています。

アクション

問題を解決するには、正しい認証情報を入力し、もう一度エンクロージャーの追加を行います。

iLO 接続の消失

症状

接続エラー

原因

不明。

アクション

推奨事項

1. サーバーをリセットして、サーバーの管理プロセッサへのネットワーク接続をリストアします。
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サーバーのリセット」を参照してください。
2. ファームウェアを再度アップデートします。
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「管理対象デバイスのファームウェアのアップデート」トピックを参照してください。

HPE OneView で Onboard Administrator ファームウェアのアップデートに失敗した

症状

注記: エンクロージャーを追加するときに、ネットワークや電源の停止、またはその他の問題のために、OA または iLO ファームウェアを最小バージョンにアップデートできないことがあります。デバイスは非管理状態で表示されます。

原因

アクション

1. メインメニューからサーバー > エンクロージャーの順にクリックします。
2. HPE OneView のマスターウィンドウで、非管理エンクロージャーを選択します。
3. アクション > ファームウェアのアップデートの順に選択します。
4. ファームウェアベースラインに対応する SPP を選択します。
5. ファームウェアのアップデートでエンクロージャーを選択して、OK をクリックします。
6. アクティビティが成功したことを確認するには、通知エリアで、アクティビティのステータスが緑色になっているかどうかをチェックします。
そうでない場合は、通知エリア内の詳細の下に一覧表示される解決方法の提案に従います。

1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません

症状

ファームウェアをインストールし、ファームウェアの状態を次のオプションのいずれかを使用して適用済みに設定した後、サーバープロファイルに「1 つ以上のファームウェアコンポーネントに、指定されたファームウェアベースラインとの整合性がありません」というアラートが表示されます。

- ・ ファームウェアと OS ドライバー (Smart Update Tools を使用)
- ・ ファームウェアのみ (Smart Update Tools を使用)

原因

OS ドライバーのバージョンが古く、新しいバージョンに依存する特定のファームウェアコンポーネントがインストールされていません。

アクション

ファームウェアと OS ドライバー (Smart Update Tools を使用) オプションを使用してプロファイルを再適用します。

以前の試行でドライバーのバージョンが最新バージョンにアップグレードされたため、これでファームウェアコンポーネントがインストールされます。

Smart Update Tools を使用したファームウェアアップデート中に、適切なホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されない

症状

Smart Update Tools (SUT) を使用したファームウェアアップデートが、ホットフィックスのバリエーションがサーバーに適用されずに正常に完了する。

原因

カスタム SPP には、そのサーバーで実行されているオペレーティングシステム用のすべてのホットフィックスのバリエーションは含まれていません。

アクション

カスタム SPP を作成するとき、オペレーティングシステム用のすべてのホットフィックスのバリエーション (.rpm、.exe、.fwpkg、または.zip ファイル) を含めます。
例えば、カスタム SPP を作成するとき、Windows 用の .exe コンポーネントを含めます。

Superdome Flex ファームウェアアップデートが失敗し、ファームウェアバージョンの不一致が検出された

症状

HPE Superdome Flex サーバーファームウェアアップデートが失敗し、ファームウェアバージョンの不一致が検出された。

原因

ファームウェアアップデート中に予期しない問題が発生しました。

アクション

1. Superdome Flex ファームウェアをもう一度アップデートします。
2. 問題が続く場合は、認定テクニカルサポート担当者に連絡し、サポートダンプを提供してください。

詳細情報

- ・ [Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)
- ・ [HPE OneView サポートマトリックス](#)

[HPE OneView ヘルプ](#)のトピック「ラックマネージャーからの Superdome Flex ファームウェアのアップデート」も参照してください。

ファームウェアのダウングレード後、Superdome Flex のサーバープロファイルを作成および編集できない

症状

ファームウェアバージョン 3.0.512 以降からダウングレードする前に、nPartition に関連付けられている HPE Superdome Flex サーバープロファイルがある場合、そのプロファイルはバージョン 2.x.y では無効になるため、操作を実行できません。

原因

ファームウェアバージョン 3.0.512 以降からバージョン 2.x.y (HPE OneView の外部) にダウングレードする前に、nPartition に関連付けられている Superdome Flex サーバープロファイルがある場合、そのサーバープロファイルは機能しなくなります。3.0.512 以前のファームウェアバージョンは、サーバープロファイルをサポートしていません。

アクション

1. ファームウェアバージョンを 2.x.y にダウングレードする前に、Superdome Flex サーバープロファイルの割り当てを解除します。
2. サーバープロファイルとラックマネージャーを削除します。
3. ファームウェアをダウングレードした後 (HPE OneView の外部で手動で実行)、ラックマネージャーを HPE OneView に再インポートしてください。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ラックマネージャー」および「サーバープロファイル」のセクションを参照してください。

ファームウェアアップデートを開始できない

症状

ファームウェアアップデートを開始しようとして失敗した。

原因

SUM のエラーが HPE OneView での操作を妨げます。

アクション

ファームウェアをもう一度アップデートします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「管理対象デバイスのファームウェアのアップデート」トピックを参照してください。

HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除できない

症状

HPE OneView でファームウェアアップグレードのログファイルを削除しようとして失敗した。

原因

SUM のエラーが HPE OneView での操作を妨げます。

アクション

1. アプライアンスを再起動します。
2. ファームウェアをもう一度アップデートします。

ハイパーバイザープロファイルのトラブルシューティング

- ・ ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない
- ・ HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作に失敗する
- ・ 標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する

ハイパーバイザークラスタープロファイルが不整合を修復できない

症状

vCenter から既存の vSphere 分散型仮想スイッチ (VDS) の名前を変更すると、ハイパーバイザークラスタープロファイルに不整合が発生します。修復しようとする、操作は失敗し、ポートグループ名が vCenter で競合するというエラーが表示されます。

解決方法 1

原因

修復の一環として、ハイパーバイザークラスタープロファイルは新しい VDS を作成し、ハイパーバイザークラスタープロファイルで定義されているようにそのポートグループとアップリンクを構成します。この操作中に、vCenter の既存の DV ポートグループと競合するポートグループ名が原因で、ハイパーバイザークラスタープロファイルの検証に失敗し、エラーが発生します。

この分散スイッチで管理されているハイパーバイザーを変更せずに VDS の名前を変更する場合は、解決策 1 に従ってください。

ハイパーバイザークラスタープロファイル用に新しい VDS を作成する必要がある場合は、解決策 2 に従います。

アクション

1. ハイパーバイザークラスタープロファイルを編集し、名前が変更された VDS の名前と一致する仮想スイッチ名を変更します。
2. OK をクリックします。

この操作により、vCenter で何も変更せずにハイパーバイザークラスタープロファイルでの不整合が解決されます。ハイパーバイザークラスタープロファイルは、名前が変更された VDS を使用して、開始します。

解決方法 2

アクション

1. ハイパーバイザークラスタープロファイルを編集し、この VDS のすべてのポートグループの名前を変更します。
2. **OK** をクリックします。
この操作により、ハイパーバイザークラスタープロファイルとすべての関連するハイパーバイザープロファイルは不整合になります。
3. ハイパーバイザークラスタープロファイルのハイパーバイザープロファイルを一致させますを選択します。
4. プレビューダイアログでは、**アップデートします**をクリックします。
この操作により、新しい VDS およびハイパーバイザーホストが追加されたポートグループが構成されることで、中断を伴わずに不整合が解決されます。

HPE OneView で vSAN 対応ハイパーバイザークラスタープロファイルの修正操作に失敗する

症状

vCenter で vSAN データ移行の進行中にハイパーバイザークラスタープロファイルを修正しようとする
と、HPE OneView は修正操作をブロックして次のエラーメッセージを表示します。

メッセージ:ハイパーバイザープロファイル<ハイパーバイザープロファイル名>に関連付けられているハイパーバイザーについて
vSAN オブジェクトの同期が進行中です。

原因

vSAN データ移行が vCenter で進行中です。

アクション

1. vCenter ですべての vSAN データ移行が完了するまでお待ちください。
2. HPE OneView で修正操作を再試行してください。
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「vSAN 対応ローリングアップデート」を参照してください。

標準から分散への vSwitch タイプの移行が失敗する

症状

クラスターで仮想マシンを実行中に、1 つ以上のホストで vSwitch タイプの標準から分散への移行が失敗する
場合がある。

アクション

1. 残りのホストから仮想マシンを手動で移行し、新しい Dvportgroup および既にアップデートされたホストのいずれかを消費します。
2. ハイパーバイザープロファイルを一致させますオプションを再実行して、クラスターの残りのホストをアップデートします。

インターコネクットのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView でインターコネクットの編集が失敗する
- ・ インターコネクットの障害
- ・ インターコネクットモジュールがインベントリ状態である
- ・ インターコネクットモジュールがメンテナンス状態である
- ・ インターコネクットモジュールが管理されていない状態である
- ・ インターコネクットのステータスが見つかりませんまたは非互換である

HPE OneView でインターコネクットの編集が失敗する

症状

インターコネクットの変更が失敗したという通知が表示される。

原因

インターコネクットの編集が失敗している。

アクション

1. オンラインヘルプにリストされている前提条件が満たされているかどうかを確認します。
2. 通知メッセージに記載されている指示に従ってください。
インターコネクットが正常に編集されている場合は、画面上部のバナーに通知が表示され、目的のポート設定とポートステータスが表示されます。

インターコネクットの障害

症状

インターコネクットが故障しています。

原因

インターコネクットで障害が発生し、交換する必要があります。

アクション

1. すべてのインターコネクットケーブルを抜き、インターコネクットをエンクロージャーから取り外します。
2. 交換用のインターコネクットを挿入し、すべてのインターコネクットケーブルを再び差し込みます。
3. アプライアンスにログインします。

4. メインメニューから、**ネットワーク > 論理インターコネク**トの順に選択し、交換用のインターコネクトを含む論理インターコネクトを選択します。
5. ビューのメニューから**アクティビティ**を選択します。

追加したインターコネクトのアクティビティがアクティビティのリストに表示されます。

インターコネクトファームウェアのバージョンがサポートされる最小ファームウェアバージョン以上の場合、アプライアンスは、交換されたインターコネクトに論理インターコネクトグループを自動的に適用し、インターコネクトは使用できる状態になります。

インターコネクトファームウェアがサポートされる最小ファームウェアベースライン未満の場合は、アラートが生成され、ステップ 6 に示すように、ファームウェアをアップデートする必要があります。

注記: インストールされているファームウェアを表示するには、ビューセクターから**ファームウェア**を選択します。

6. インターコネクトのファームウェアをアップデートします。ファイバーチャネルインターコネクトの場合は、以下を参照してください。FlexFabric インターコネクトの場合は、手順 7 に進みます。

ファームウェアバージョンが HPE OneView の最小バージョンより古いファイバーチャネルインターコネクトは、HPE OneView で管理することはできません。HPE OneView の外部のファームウェアをアップデートまたは削除するには、エンクロージャーを取り外す必要があります。ファイバーチャネルインターコネクトが最小バージョンより古い場合は、HPE OneView からエンクロージャーを削除して、ファイバーチャネルインターコネクトを最小バージョンにアップデートします。または、HPE OneView が管理するエンクロージャーからインターコネクトを削除して HPE OneView が管理していないエンクロージャーに挿入し、ファームウェアを最小バージョンにアップデートします。最小バージョンの要件は、**HPE OneView サポートマトリックス**に記載されています。

- ・ HPE OneView からエンクロージャーを削除するか、ファイバーチャネルインターコネクトを物理的に取り外して、現在 HPE OneView が管理していないエンクロージャーに設置します。
- ・ Onboard Administrator または外部の DHCP サーバーを使用して、インターコネクトに IPv4 アドレスを割り当てます。
- ・ HP SUM または Virtual Connect Support Utility (VCSU) を使用して、インターコネクトのファームウェアをアップデートします。
- ・ エンクロージャーを HPE OneView に追加するか、HPE OneView が管理するエンクロージャーにファイバーチャネルインターコネクトを戻します。
- ・ オプション：ファイバーチャネルインターコネクトで IPv6 アドレスをサポートする予定の場合は、Onboard Administrator または外部の DHCP サーバーを使用して IPv6 アドレスをインターコネクトに割り当てます。

7. ファームウェアのアップデートについては、オンラインヘルプで「管理対象デバイスのファームウェアバンドルのアップデート」を参照してください。

ファームウェアアップデートの進行状況は**論理インターコネク**ト画面の上部に表示されます。アップデートが完了すると、アプライアンスは論理インターコネクトグループを自動的に適用し、インターコネクトは使用できる状態になります。

インターコネクトモジュールがインベントリ状態である

症状

インターコネクトモジュールは、その状態をインベントリ状態として報告します。

原因

インターコネクトモジュールは、論理インターコネクトの一部ではありません。

アクション

1. **論理インターコネクトグループ画面**を使用して、エンクロージャーの論理インターコネクトグループを見つけるか、論理インターコネクトグループの作成を行います。
2. メインメニューから、**サーバー > エンクロージャーグループ**の順に選択します。エンクロージャーグループの編集を行って、手順 1 の論理インターコネクトグループを追加します。
3. メインメニューからエンクロージャーグループからの論理エンクロージャー構成のアップデートを選択します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプを参照してください。

インターコネクトモジュールがメンテナンス状態である

症状

インターコネクトモジュールは、その状態をメンテナンス状態として報告します。

原因

インターコネクトモジュールがその状態をメンテナンス状態と報告する場合は、Onboard Administrator (OA) 認証情報のキャッシングに問題があります。

アクション

1. インターコネクトモジュールがメンテナンス状態の場合：エンクロージャーを再追加する必要があります。メインメニューから**サーバー > エンクロージャー > 追加**の順に選択します。
2. エンクロージャー情報 (IP/FQDN、Administrator のアカウントとパスワード) を入力し、**追加ボタン**をクリックします。

これによりエンクロージャーとそのコンポーネントの再検出が開始されます。

インターコネクトモジュールが管理されていない状態である

症状

インターコネクトモジュールは、その状態を非管理状態として報告します。

解決方法 1

原因

インターコネクトベイが予期されるタイプと一致しない。論理インターコネクトグループは、エンクロージャー内のインターコネクトとは異なるインターコネクトを予期しています。



アクション

1. 予期されないインターコネクトをエンクロージャーから削除します。
2. 予期されるインターコネクトをエンクロージャーに挿入します。
3. **HPE OneView ヘルプ**の説明に従って、論理インターコネクトグループをアップデートして、インターコネクトを使用します。

解決方法 2

原因

インターコネクトにインストールされているファームウェアが、サポートされる最小ベースラインバージョンより古い。

注記: これは、IPv6 アドレスが構成されているバーチャルコネクトファイバーチャネルインターコネクトに適用されます。これらのインターコネクトは、バーチャルコネクトファイバーチャネルモジュールのみを含むエンクロージャーに取り付けられます。

サポートされる最小のインターコネクトファームウェアバージョンについては、**HPE OneView サポートマトリックス**を参照してください。

アクション

1. HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、エンクロージャーをエンクロージャー画面から削除します。
2. HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、仮想ファイバーチャネルインターコネクト用のインターコネクトファームウェアをアップデートします。
3. エンクロージャー画面でエンクロージャーを追加します。
4. Virtual Connect ファイバーチャネルでないインターコネクトの場合、**HPE OneView ヘルプ**の説明に従って、論理インターコネクトのインターコネクトファームウェアをアップデートしてください。

インターコネクトのステータスが見つかりませんまたは非互換である

症状

インターコネクトモジュールは、そのステータスが見つかりませんまたは非互換と報告します。

原因

インターコネクトモジュールが、エンクロージャーから取り外したとき使用中でした。Virtual Connect ファイバーチャネルモジュールが使用中であるのは、次のいずれかの状態が存在している場合です。

インターコネクトモジュールがインターコネクトベイの中で、サポートされる最小バージョンより前のリリースの Virtual Connect を使用している。

インターコネクトモジュールのアップリンクポートに関連付けられているネットワークが、サーバープロファイルで使用されている。

アクション

Virtual Connect ファイバーチャネルモジュールは使用中で、物理的に取り外された時点で構成されていた場合、同じモデルとタイプのモジュールに交換する必要があります。

HPE OneView ライセンスのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView のライセンス数が見つからない
- ・ HPE OneView でライセンスを追加できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスを適用できなかった
- ・ HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった
- ・ ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い
- ・ 最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される
- ・ エンクロージャー Onboard Administrator から消去されたライセンスキーのリストア
- ・ 割り当てられたライセンスが指定されたタイプと一致しない

HPE OneView のライセンス数が見つからない

症状

HPE OneView Standard ライセンスのライセンス数が見つからない。ただし、HPE OneView Standard ライセンスでライセンスされたサーバーハードウェアの数を取得することはできます。

原因

アプライアンスに HPE OneView Standard ライセンスの数が表示されない。

アクション

1. サーバーハードウェア画面から、**スマート検索ボックス**をクリックし、**スコープでサーバーハードウェア**を選択します。
2. **スマート検索ボックス**に、「state:Monitored」と入力し、**Enter** キーを押します。
マスターウィンドウに、すべての監視対象サーバーハードウェアが表示されます。すべての監視対象サーバーハードウェアに HPE OneView Standard ライセンスが割り当てられています。

HPE OneView でライセンスを追加できなかった

症状

アプライアンスのライセンスを追加できない。

解決方法 1

原因

ライセンスキーが空白、正しくない、または無効です。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 入力したライセンスキーを確認します。
iLO をサポートする製品のライセンスキーを、サポートしない製品に追加しようとししないでください。
同様に、iLO をサポートしない製品のライセンスキーを、サポートする製品に適用しないでください。
3. 適切な値を入力し、ライセンスキーの形式が有効であることを確認します。
4. 再試行してください。
5. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

解決方法 2

原因

ライセンスキーが失効しています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 有効な最新のライセンスキーを入手します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。

解決方法 3

原因

アプライアンスの日付と時刻の設定が無効です。ライセンスがまだアクティブではありません。ライセンスを追加するには早すぎます。

アクション

1. アプライアンスの日付と時刻の設定を確認します。
2. ライセンスがアクティブになる時刻と日付を調べます。
3. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

HPE OneView でライセンスキーを追加できなかった

症状

アプライアンスのライセンスキーを追加できない。

解決方法 1

原因

ライセンスキーが空白、正しくない、または無効です。



アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 入力したライセンスキーを確認します。
iLO をサポートする製品のライセンスキーを、サポートしない製品に追加しようとししないでください。
同様に、iLO をサポートしない製品のライセンスキーを、サポートする製品に適用しないでください。
3. 適切な値を入力し、ライセンスキーの形式が有効であることを確認します。
4. 再試行してください。
5. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

解決方法 2

原因

ライセンスキーが失効しています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 有効な最新のライセンスキーを入手します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。

解決方法 3

原因

アプライアンスの日付と時刻の設定が無効です。ライセンスがまだアクティブではありません。ライセンスを追加するには早すぎます。

アクション

1. アプライアンスの日付と時刻の設定を確認します。
2. ライセンスがアクティブになる時刻と日付を調べます。
3. 問題が続く場合、認定テクニカルサポートに連絡してください。

HPE OneView でライセンスを適用できなかった

症状

ライセンスまたはライセンスキーをインスタンスに適用できなかった。

解決方法 1

原因

ライセンスキーのすべてのライセンスが使用されています。ライセンスを取得しようとしたインスタンスが、ライセンスされていないと記録されています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 新しいライセンスキーを取得します。
3. 新しいライセンスキーで再試行します。

解決方法 2

原因

適用しようとするライセンスは、すでに使用されています。

アクション

1. 未使用のライセンスが残っている場合は、別のライセンスでもう一度試してください。
2. それ以外の場合は、未使用のライセンスを含むライセンスキーを取得し、新しいライセンスキーからのライセンスで再度実行してください。

解決方法 3

原因

すでにライセンスが付与されているインスタンスまたは製品に、ライセンスが適用されました。

アクション

1. ライセンスを取得しようとしているインスタンスまたは製品を確認します。
2. 必要な場合は、正しいインスタンス名または製品名で再試行します。

HPE OneView でライセンスの詳細を表示できなかった

症状

アプライアンスについてライセンスの詳細を表示できない。

解決方法 1

原因

ライセンスがアプライアンスに割り当てられていない。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ライセンスを割り当てます。
3. もう一度ライセンスの詳細を表示します。



解決方法 2

原因

問題の内容

フィルターの条件が、空白、または正しくない。アプライアンスは結果を返せなかった。

原因

フィルターの条件が正確でなかったため、結果を返せませんでした。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. フィルター条件を修正します。
3. もう一度ライセンスの詳細を表示します。

ライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が管理下にある数より多い

症状

ライセンスグラフに表示されるライセンス適用済みサーバーハードウェアの数が、管理下にあるサーバーハードウェアの現在の数より多い。

原因

HPE OneView Advanced ライセンスが割り当てられたサーバーハードウェアが、管理対象から削除された。HPE OneView Advanced ライセンスが割り当てられたサーバーハードウェアが管理対象から削除されたときに、ライセンスが割り当てられたままになっていました。これによって、ライセンスされたサーバーの数が、現在管理されているライセンス適用済みサーバーハードウェアの数より大きくなる可能性があります。

アクション

REST API を使用して、ライセンスに割り当てられているすべてのサーバーのリスト全体を表示できます。

```
GET /rest/licenses
```

最近追加または割り当てられたライセンスが不正確であることが表示される

症状

最近追加または割り当てられたライセンスがライセンスグラフに報告されない

原因

ライセンスグラフが最新でない。



アクション

ライセンスグラフの設定画面を更新し、最新の変更を表示します。

消去されたライセンスキーのリストア

症状

エンクロージャーを追加するときに、Onboard Administrator (OA) に埋め込まれているライセンスキーが検出されない。

注記: エンクロージャーでファクトリリセットを実行すると、Onboard Administrator (OA) に内蔵されたライセンスが消去されるため、HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、ライセンスキーを手動で取得して再追加する必要があります。

原因

OA に内蔵されたライセンスキーが消去されている。

アクション

1. HPE ライセンスサポートにあるソフトウェア用の HPE ライセンスにアクセスして、ライセンスキーをアクティブ化、登録、および、ダウンロードします。
2. HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、設定画面からアプライアンスにキーを追加します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ライセンス」セクションを参照してください。

割り当てられたライセンスが指定されたタイプと一致しない

症状

サーバーハードウェアに、アプライアンスに追加したときに指定したものとは異なるライセンスが割り当てられている。

解決方法 1

原因

サーバーハードウェアに埋め込みのライセンスがある。

アクション

埋め込みのライセンスは、エンクロージャーまたはラックサーバーが追加されたときに指定されたライセンスポリシーまたはタイプをオーバーライドします。iLO Advanced の既存の永久ライセンスを持つサーバーハードウェアには、HPE OneView Advanced w/o iLO ライセンスが割り当てられます。詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ライセンスについて」トピックを参照してください。

解決方法 2

原因

以前にアプライアンスによって管理されていたサーバーが再度追加されている。

アクション

以前にアプライアンスによって管理されていて、HPE OneView Advanced のライセンスが適用されていたサーバーの場合は、指定されたライセンスタイプに関係なく、追加するときにはそれと同じライセンスが割り当てられます。

論理インターコネクットのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー
- ・ HPE OneView での I/O ベイの占有エラー
- ・ Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された
- ・ HPE OneView での物理インターコネクットの警告またはエラー
- ・ HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー

HPE OneView でのファームウェアアップデートエラー

症状

ファームウェアのアップデート障害のエントリがアクティビティログに表示される。

原因

インターコネクットのファームウェアエラーは、以下が原因で発生することがあります。

- ・ ファームウェアのアップデートが進行中にインターコネクットモジュールを再起動する。
- ・ 別のファームウェアアップデートがすでに進行中のときにファームウェアアップデートを開始する。
- ・ 論理インターコネクット内のインターコネクットがアップグレードの開始前に構成済み状態になっていない。
- ・ HPE OneView がエンクロージャーの Onboard Administrator と通信できない。

アクション

1. ファームウェアのアップデートの進行中にインターコネクットモジュールを再起動しないでください。
2. 根本的な原因について詳しくは、アクティビティログをチェックしてください。
 - a. ファームウェアのステージングが失敗する場合は、アクティビティログをチェックし、問題を解決してアップデートを再開します。
 - b. ファームウェアのアクティブ化が失敗する場合は、アクティビティログをチェックしてから、手動でファームウェアをアクティブ化します。次に、HPE OneView で VC インターコネクットのファームウェアバージョンが OA に示されるバージョンと同じであることを確認します。
3. アップグレードを開始する前に、論理インターコネクットのすべてのインターコネクットが構成済み状態になっていることを確認します。
4. どうしてもファームウェアのアップデートが失敗する場合は、オンラインヘルプを参照し、論理インターコネクットのサポートダンプファイルを作成して認定サポート担当者に問い合わせてください。

HPE OneView での I/O ベイの占有エラー

症状

インターコネクトの状態エラー

原因

インターコネクトの状態が変わる

アクション

1. 以下のいずれかのインターコネクト状態エラーを解決します。
 - ・ インターコネクトが IO ベイからなくなっている（インターコネクトの状態が非存在である）
 - ・ IO ベイにサポートされていないインターコネクトモデルが見つかった（インターコネクトの状態は未サポート）
 - ・ サポートされていないファームウェアが原因で、IO ベイのインターコネクトを管理できない（インターコネクトの状態は非管理）
 - ・ インターコネクトタイプと論理インターコネクトグループで指定されたタイプの間の不一致
 - ・ 水平方向に隣接したインターコネクトモジュールの不一致

Pause Flood 状態が Flex-10 または Flex-20 物理ダウンリンクポートで検出された

症状

物理ポートに関連付けられているすべての Flex-10 または Flex-20 論理ポートが無効になっている。

原因

Pause Flood 保護が有効な場合、サーバーダウンリンクポートの Pause Flood 状態が検出され、そのポートが無効になります。ポートは、管理アクションが行われるまで無効のままになります。

アクション

1. 連続した休止生成の原因となっているサーバー上の NIC の問題を解決します。これには、NIC ファームウェアおよびデバイスドライバーのアップデートが含まれる場合があります。

休止フラッド状態の原因が NIC ファームウェア内にある場合は、サーバーを再起動しても休止フラッド状態がクリアされないことがあります。この場合、サーバーを電源から完全に切り離して、NIC ファームウェアをリセットする必要があります。
2. メインメニューから、**ネットワーク > インターコネクト**を選択します。
3. マスターウィンドウで、**ループおよび Pause Flood 保護**をリセットするインターコネクトを選択します。
4. **アクション > ループおよび Pause Flood 保護のリセット**を選択し、無効になっているポートを再度有効にします。

HPE OneView での物理インターコネクットの警告またはエラー

症状

インターコネクトレベルの警告またはエラー

原因

インターコネクットの警告またはエラーは、以下が原因で発生することがあります。

- ・ 展開された接続によるダウンリンクが使用可能ではない
- ・ ファームウェアのバージョンが正しくない（ファームウェアベースラインのバージョンと異なる）
- ・ 構成エラー
- ・ ハードウェア障害
- ・ 通信の切断
- ・ 管理上ポートが無効になっている

HPE OneView でのアップリンクセットの警告またはエラー

症状

アップリンクセットが動作していない

原因

以下の理由により、アップリンクセットが動作していない：

- ・ 1つまたは複数のアップリンクが、不良ケーブル、ケーブルがない、トランシーバーの不足、または無効なトランシーバーという理由で動作していない
- ・ ネットワークが割り当てられていない
- ・ FCoE ネットワークの DCBX 情報がない

アクション

1. 次の前提条件が満たされているかどうかを確認してください。
 - a. 少なくとも1つのネットワークが定義されている
 - b. ネットワーク管理者の権限またはネットワークを管理するための同等の権限を持っている。
詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ユーザーの役割」トピックを参照してください。
 - c. DCBX 情報が FCoE ネットワークに必要なものである
2. アップリンクセットの追加画面上の入力したデータが正しいことと、アップリンクセット名が一意であることを確認します。
3. 操作を再試行してください。



論理スイッチのトラブルシューティング

スイッチの通信

スイッチの通信

症状

スイッチと通信できない

原因

正しくないスイッチタイプまたは無効な認証情報

アクション

1. HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、論理スイッチを編集し、新しい認証情報を入力します。
2. HPE OneView のオンラインヘルプの説明に従って、論理スイッチグループを編集し、正しいトップオブブラックスイッチタイプとスイッチ数を指定します。

ネットワークのトラブルシューティング

HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する

HPE OneView でのネットワーク作成操作が失敗する

症状

ネットワークの作成が失敗する。

原因

ネットワーク構成が正しくない。

アクション

1. 以下のことを確認してください。
 - a. ネットワーク名が一意である。
一括操作を使用して複数のタグ付きネットワークを作成すると、VLAN ID はネットワーク名に付加されます。
 - b. ネットワークの数が、[HPE OneView サポートマトリックス](#)に示されている最大数を超えていない。
 - c. プライベートネットワークの数が、[HPE OneView サポートマトリックス](#)に示されている最大数を超えていない。
2. ネットワークの作成操作を再実行します。

ラックマネージャーのトラブルシューティング

ラックマネージャーに到達できない

ラックマネージャーに到達できない

症状

HPE OneView は、ラックマネージャーを追加するために使用した IP アドレスでラックマネージャーに接続できない。HPE OneView は、通信のために機能している他の IP アドレスにフォールバックしません。

解決方法 1

原因

ラックマネージャーはホスト名を使用して追加され、ホスト名は IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方に解決されます。ただし、IPv4 アドレスが優先され、ラックマネージャーは IPv4 アドレスのみを使用して追加されます。IPv4 アドレスに到達できない場合、HPE OneView は IPv6 アドレスにフォールバックしません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者またはサーバー管理者としてアプライアンスにログインします。
2. アクセスできないラックマネージャーを削除します。
3. 機能している IPv6 アドレスを使用して、ラックマネージャーをもう一度追加します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「ラックマネージャーの追加」を参照してください。

ホスト名を使用してラックマネージャーを追加しないでください。

解決方法 2

原因

ラックマネージャーが追加された後、ラックマネージャーとの通信は、ラックマネージャーの追加に使用された IP アドレスを介して行われます。IP アドレスに到達できない場合、HPE OneView は追加されたラックマネージャーに関連付けられている他の IP アドレスにフォールバックしません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者またはサーバー管理者としてアプライアンスにログインします。
2. アクセスできないラックマネージャーを削除します。
3. 機能している IP アドレスを使用してラックマネージャーを追加します。詳しくは、[HPE OneView ヘルプ](#)の「ラックマネージャーの追加」を参照してください。

詳細情報

- ・ [HPE OneView ヘルプ](#)の「ラックマネージャーの追加と監視」
- ・ [HPE OneView ヘルプ](#)の「RMC ヘルス監視アラート」

レポートのトラブルシューティング

HPE OneView でレポートを表示できない

HPE OneView でレポートを表示できない

症状

どのレポートにもアクセスできない。

原因

権限が適切でない

アクション

1. ログアウトし、レポートを確認することができるユーザー役割でログインします。例：

- ・ インフラストラクチャ管理者
- ・ ネットワーク管理者
- ・ サーバー管理者
- ・ ストレージ管理者
- ・ 読み取り専用

スコープのトラブルシューティング

認証の問題に関するトラブルシューティング

認証の問題に関するトラブルシューティング

必要なパーミッションを持たない操作を実行しようとする、認証が失敗します。ほとんどの場合、このような障害は構成済みのセキュリティポリシーを反映しています。インフラストラクチャ管理者に連絡して、追加の権限を付与してもらうようにしてください。

ただし、管理者に連絡する前に実行できるチェックがいくつかあります。

- ・ リクエストの発行に使用されたセッショントークンが有効でないため、障害が発生した可能性があります。これは、たとえば、トークンの有効期限が切れている場合に発生します。この場合は、認証情報を再入力して新しいユーザーセッションを作成します。HPE OneView はこの状態を自動的に検出し、ログイン画面を表示します。
- ・ HPE OneView では、複数のパーミッションを持つユーザーは低い特権モードで操作できます。このモードの場合、ユーザーの権限は、承認されたパーミッションのサブセットに制限されます。低い特権モードで操作している場合は、パーミッションを再度有効にすることでアクセス権が付与されるかどうかを確認してください。
- ・ スコープによって権限が制限されているユーザーは、承認されたパーミッションスコープ内でのみリソースを管理できます。リソースが自分のパーミッションスコープに割り当てられていない場合は、管理者に連絡してください。リソース画面でスコープビューを選択すると、リソースがどのスコープに割り当てられているかが表示されます。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「ユーザーパーミッションの変更」トピックを参照してください。

サーバーハードウェアのトラブルシューティング

特定のサーバーハードウェアの問題については、[HPE OneView リリースノート](#)を参照してください。

- ・ [Gen10 および Gen10 Plus ラックサーバー上の組み込み HPE アダプターの場所が「不明」になっている](#)
- ・ [サーバーの追加が失敗した](#)
- ・ [サーバーを追加できない](#)
- ・ [サーバーの電源を制御できない](#)
- ・ [サーバーを削除できない](#)
- ・ [HPE OneView アプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた](#)
- ・ [HPE OneView for Superdome Flex サーバーで、ラックマネージャーまたはサーバーハードウェアでの更新およびその他の操作に失敗する](#)
- ・ [割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーの交換](#)
- ・ [システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない](#)
- ・ [ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である](#)

Gen10 および Gen10 Plus ラックサーバー上の組み込み HPE アダプターの場所 が「不明」になっている

症状

ポートパネルでネットワークアダプターの場所フィールドは不明に設定されています。

原因

iLO 5 ファームウェアバージョンが 1.4x です。

アクション

ネットワークアダプターの iLO 5 ファームウェアバージョンを 1.4x から 2.10 以降にアップグレードします。

サーバーの追加が失敗した

症状

サーバーを追加しようとして失敗した。

解決方法 1

原因

前にこのプロファイルに関連付けられたサーバーは、別の場所（別のベイまたはエンクロージャー）に再度挿入されます。展開されたメッセージ内の[編集リンク](#)は、プロファイルの編集ダイアログボックスに新しいサーバーの場所が表示されるようにします。

アクション

同じサーバー、別のベイ：サーバープロファイルを編集画面を使用して、サーバープロファイルを別のベイのサーバーに手動で移動します。エラーメッセージの編集リンクからこの画面を表示した場合は、サーバーハードウェアの値が自動的に入力され、ダイアログの下部に適切な変更の指示が表示されるので、OK をクリックします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サーバープロファイルの移動について」を参照してください。

解決方法 2

原因

別のサーバー、同じベイ。

アクション

サーバープロファイルは、UUID によって特定のサーバーに関連付けられます。誤ったサーバーがベイに挿入されている場合、サーバープロファイルの移行に関するメッセージが表示されます。サーバーハードウェアリンクは新しいサーバーのサーバーハードウェア画面をポイントします。接続はそのまま無効ステータスを示します。サーバーハードウェア画面は、サーバープロファイルと関連付けられたことがあると認識しないため、通常どおり表示されます。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「サーバープロファイルの移行について」および「サーバープロファイルの編集について」の各トピックを参照してください。

解決方法 3

原因

サーバーに有効なシリアル番号および製品 ID がありません。

アクション

システムボードを交換する場合は、サーバーをベイに挿入する前に、UEFI システムユーティリティを使用して、シリアル番号と製品 ID を設定します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「プロファイルに関連付けられたサーバーをベイに挿入するとどうなりますか」トピックを参照してください。

サーバーを追加できない

症状

注記: サーバーの追加操作が失敗すると、通知パネルに、追加操作が失敗した理由と、問題の解決策が表示されます。たいていの場合、解決策は、メッセージに埋め込まれている追加リンクをクリックすることです。追加操作によりすべてのコンポーネントが再検出され、それについてのサーバーの情報がアップデートされます。

原因

サーバーがすでに他の管理ソフトウェアによって管理されていて、そのソフトウェアによって獲得される。

アクション

1. 通知パネルの指示に従ってください。

注記: サーバーに関するすべての情報を取得できない場合は、エラーが発生する可能性があります。エラーが発生すると、問題の説明と、問題の原因となったコンポーネントが通知パネルに表示されます。

2. サーバーを再追加するには、通知メッセージパネル（ある場合）の追加の再試行またはリフレッシュリンクをクリックするか、**追加画面**から追加操作を再度開始します。

注記:

- ・ サーバーが管理されていない状態で、獲得されている場合、解決策は更新することです。サーバーが獲得されていない場合、解決策は追加することです。
- ・ アプライアンスにサーバーを強制的に追加するには、現在別の管理システムによって管理されているサーバーを獲得します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「別の管理システムによって現在監視されている監視対象サーバーの強制的な追加」トピックを参照してください。

サーバーの電源を制御できない

サーバーハードウェアの電源管理は、ターゲットのサーバーハードウェアの HPE Integrated Lights-Out (iLO) と、ホストエンクロージャーの Onboard Administrator モジュール（ProLiant サーバーの場合）の両方に依存します。

サーバーの電源制御に問題がある場合は、最新の構成と、この機能に影響する可能性のあるセキュリティの変更を調査してください。多くの場合、これらの変更を確認するための第一歩として、iLO のイベントログが役に立ちます。

ProLiant サーバーについて調査するもう 1 つの領域は、エンクロージャーの電源管理ポリシーです。Onboard Administrator を確認して、十分な電力が供給されていて、電源操作ポリシーが適切であることを確認します。

ハードウェアにも障害がある可能性があります。iLO で POST（電源投入時セルフテスト）エラーについてのインテグレートドマネジメントログ（IML）を使用して、ハードウェアエラーが発生したかどうかを確認します。

電源オンまたは電源オフ操作が失敗する場合は、通知メッセージに表示される指示に従ってください。

サーバーを削除できない

症状

サーバーを削除しようとして失敗した。

原因

サーバーハードウェアとの接続がなくなると、削除操作が成功しない場合があります。

アクション

1. サーバーがアプライアンスから削除されていません。可能性のある原因はアプライアンスの内部の問題であり、最良の解決方法は、通知パネルに表示される指示に従うことです。サーバーは削除されますが、通信エラーのため、構成を手動で修正する必要があります。接続障害によりサーバーを強制的

に削除するには、HPE OneView のオンラインヘルプの「削除操作に失敗した場合のサーバーの強制的削除」トピックの手順に従います。

2. 手動構成が必要な場合は、以下の点を調査してください。管理 URL が、まだアプライアンスを指している可能性があります、そのままかまいません。削除後に手動でクリーンアップするには、強制オプションを使用して、新しいアプライアンスマネージャーでサーバーを再度追加します。
3. `_HPEOneViewAdmin` 管理ユーザーを、iLO を介して iLO ユーザーのリストから削除します。
4. SNMP トラップ先 (アプライアンスの IP アドレス) を、トラップのターゲットのリストから削除します。
5. iLO Web インターフェイスの HPE OneView ページに移動し、この iLO からリモートマネージャー構成を削除します。ダイアログの削除ボタンをクリックします。

HPE OneView アプライアンスの再起動後にサーバーハードウェアへの接続が失われた

クラッシュ後にアプライアンスが再起動すると、長時間実行されていて失敗したアクティビティについてサーバーインベントリが評価されます。このようなアクティビティには、クラッシュの発生時に進行中だった可能性のある、サーバープロファイル設定の適用などのアクティビティなどが含まれます。サーバープロファイル設定の再適用など、同じ操作を再度実行することによって復旧することができます。

アプライアンスはサーバーを再同期します。再同期中、各サーバーハードウェアは `resyncPending` 状態に入ります。個々のサーバーハードウェアの完全再同期には、サーバーハードウェアの再検出、サーバーハードウェアの電源状態の確認とそれに応じたリソース状態のアップデート、およびヘルルスステータスのアップデートが含まれます。アプライアンスは、再同期操作中に、タスクごとのタスクキューを作成します。

HPE OneView for Superdome Flex サーバーで、ラックマネージャーまたはサーバーハードウェアでの更新およびその他の操作に失敗する

症状

HPE Superdome Flex サーバーの場合、ラックマネージャーまたはサーバーハードウェアでの更新、およびその他の操作が繰り返し失敗し、接続の問題を示すエラーメッセージが表示されます。

原因

以下のような原因が考えられます。

- ・ ラック管理コントローラー (RMC) が停止しています。
- ・ RMC の IP アドレスまたはユーザー認証情報が変更されています。

アクション

1. 操作が繰り返し失敗する場合は、ラックマネージャーをラックマネージャーページから更新してください。

注記: 更新操作が失敗した場合は、接続性に関する追加情報とともにエラーメッセージが表示されます。

2. 問題を解決するには、エラーメッセージの説明に従います。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「アプライアンスとサーバーハードウェア間の接続の問題の解決」を参照してください。

割り当てられたサーバープロファイルがあるサーバーの交換

症状

サーバーハードウェアの障害

原因

サーバーハードウェアで障害が発生し、交換する必要があります。

アクション

1. 正常にサーバーハードウェアをシャットダウンします。
2. 元のサーバーを取り外し、交換用のサーバーを設置します。
3. 交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプが元のサーバーのサーバーハードウェアタイプに一致する場合は、以下を行います。
 - a. プロファイルで定義されているアフィニティが**デバイスベイ**に設定されている場合、サーバープロファイルは新しいサーバーに自動的に再割り当てされます。ステップ 5 に進んでください。
 - b. アフィニティが**デバイスベイ + サーバーハードウェア**に設定されている場合は、サーバープロファイルを編集し、再保存して、アプライアンスが新しいサーバーのプロファイルを再構成できるようにする必要があります。サーバープロファイルの変更は必要ありません。ステップ 5 に進んでください。
4. 交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプが元のサーバーのサーバーハードウェアタイプと一致しない場合は、交換用のサーバーのサーバーハードウェアタイプと一致する新しいプロファイルを作成する必要があります。サーバーに割り当てられている元のプロファイルを割り当て解除または削除し、新しいプロファイルを交換用のサーバーに割り当てる必要があります。または、サーバーハードウェアのタイプをアップデートして、挿入されたハードウェアに一致させる必要があります。
5. iLO ファームウェアバージョンが必要な最小ファームウェアバージョン以上の場合、手順 6 に進みます。iLO ファームウェアの最小バージョンは、**HPE OneView サポートマトリックス**に記載されています。交換用のサーバーの iLO ファームウェアバージョンが必要な最小ファームウェアバージョンより小さい場合は、**サーバーハードウェア**画面に警告が表示され、サーバーステータスが**非管理/サポート**されていないファームウェアになります。
 - a. **アクション > iLO ファームウェアのアップデート**の順に選択します。
 - b. **OK** をクリックします。
6. iLO ファームウェアバージョンがベースラインとは異なり、サーバープロファイルが Gen8 サーバー以降に割り当てられている場合は、サーバープロファイルの再割り当てによって iLO サーバーファームウェアを自動的にアップデートできます。
 - a. メインメニューから、**サーバー > サーバープロファイル**を選択し、編集するサーバープロファイルを選択します。
 - b. **アクション > 編集**の順に選択します。必要な場合は、適切なサーバーハードウェアを選択します。
 - c. ファームウェアアップデートを手動で管理するには、**ファームウェアベースラインリスト**から、**手動で管理**を選択します。

- d. ファームウェアを自動的にアップデートするには、適切なファームウェアベースラインを選択します。強制的にファームウェアをインストールするには、**強制的にインストール**を選択します。
- e. **OK** をクリックします。

ファームウェアバージョンがベースラインとは異なり、サーバープロファイルが G7 サーバーに割り当てられている場合は、アプライアンスの外部でファームウェアをアップデートする必要があります。

システムボードの交換後にサーバーの電源がオンにならない

症状

新しく修復されたサーバーをベイに挿入するときに追加プロセスが継続して実行され、サーバーの電源がオンにならない。

原因

サーバーを取り外してシステムボードを新しいシリアル番号と製品 ID を持つ新しいものに交換する前に、新しいサーバーに関連付けられているプロファイルが割り当て解除されていません。

アクション

新しいシステムを再構成して、以前のシステムボード ID と一致させます。

1. HPE OneView が「追加」プロセスを終了するまで 10~15 分間待ちます。エラーで終了する可能性があります。
2. サーバーの電源をオフにしてから、ベイからサーバープロファイルの割り当てを解除します。
3. サーバーのコンソールに接続し、サーバーの電源をオンにします。
4. **F9** キーを押して UEFI システムユーティリティに入ります。
5. シリアル番号と製品 ID の設定を探し、交換されたボードに設定されていたものと同じ値に設定します。
シリアル番号と製品 ID は、そのサーバーの「toe タグ」に印刷されています。
6. UEFI システムユーティリティを終了し、Power On Self Test (POST) を経てサーバーの電源が投入されるまで待ちます。
7. サーバーの電源を切断します。
8. エンクロージャーまたはフレームを更新します。
9. サーバープロファイルを再割り当てします。
10. サーバープロファイルが割り当てられたときにアラートが生成されなかったことを確認します。
11. これで、サーバーの電源をオンにして操作を再開できます。

ワンタイムブートオプションを設定している間、サーバーが POST 中である

症状

サーバーが「Post in progress, EV unavailable. (POST の実行中で、EV を利用できません。)」として表示される。

原因

サーバーの電源がオンの間はサーバーのワнтаイムブートオプションを設定できますが、サーバーが POST (Power-On-Self-Test) を実行している間は設定できません。

アクション

1. サーバーの電源を切ります。
2. ワнтаイムブートオプションを設定します。
3. サーバーの電源をオンにします。
4. サーバーのブートステータスを確認するには、サーバーコンソールを確認します。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「サーバーハードウェア」のセクションを参照してください。

サーバープロファイルのトラブルシューティング

- ・ ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する
- ・ 接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する
- ・ プロファイルから接続を追加できない
- ・ サーバープロファイルを適用できない
- ・ ファームウェアのインストールを完了できない
- ・ 接続を追加するときに、ネットワークが見つからない
- ・ HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない
- ・ 複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない
- ・ 不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される
- ・ HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない
- ・ BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる
- ・ HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない
- ・ サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない
- ・ サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない
- ・ プロファイルを削除できない: MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない
- ・ サーバープロファイルの電源をオフにできない
- ・ ファームウェアをアップデートできない

ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生する

症状

ファームウェアと OS ドライバーのアップデートでエラーが発生している。

原因

いくつかのコンポーネントが展開されない。

アクション

1. いくつかのコンポーネントが展開できない場合は、ターゲットサーバー OS にログインして `gatherlogs bat/sh` を実行します (OS が Windows の場合は `bat`、Linux の場合は `sh` を使用)。`gatherlogs` は、ターゲットサーバーのステージングディレクトリにあります。
2. ステージングディレクトリを特定するには、`sut -status` コマンドをステージングディレクトリから実行して、レポートをトラブルシューティング用に HPE へ送ってください。[Integrated Smart Update Tools for Windows and Linux User Guide](#) および [Smart Update Tools for VMware ESXi User Guide](#) ([Smart Update Tools Information Library](#) 内) を参照してください。

接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する

症状

接続の割り当て中または展開中に、FlexNIC の自動割り当てが失敗する。

原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。無効な構成がある。

FlexNIC 接続の自動割り当てでは、以下の点は検証されません。

- ・ 物理ポートの帯域幅のオーバーサブスクリプション
- ・ 物理ポートの最大ネットワーク (VLAN)
- ・ 物理ポートの重複ネットワーク (VLAN)

アクション

手動割り当てが必要です。

プロファイルから接続を追加できない

症状

プロファイルから接続を追加できません。

原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

アクション

1. 以下の条件が当てはまることを確認します。

- ・ 論理インターコネクトグループのインターコネクトの状態が構成済みであり、ファームウェアが正しい。
- ・ サーバーの状態がプロファイル未適用状態であり、正しいファームウェアがあり、ポートが正しいインターコネクトにマップされている。

サーバープロファイルを適用できない

症状

適用するとサーバープロファイルが失敗します。

解決方法 1

原因

サーバーハードウェアの状態を確認できない。

次の操作でサーバーハードウェアの動作状態を確認します。

1. キャンセルをクリックしてサーバープロファイルの作成画面を終了します。
2. メインメニューから、サーバー > サーバーハードウェア画面に移動します。
3. サーバーハードウェアを検索して、選択します。

解決方法 2

原因

サーバープロファイルで LUN を指定したときに、ボリューム値の制限を超えました。

アクション

1. HPE OneView サポートマトリックスで確認し、LUN を指定するときに、サポートされているストレージネットワークメザニンアダプターの既知のボリューム制限を特定します。
2. サーバープロファイル内の SAN ボリュームを編集するときに、SAN ストレージボリュームの LUN をターゲットストレージネットワークメザニンアダプターの既知の制限値内になるように設定します。
3. 操作を再試行してください。

解決方法 3

原因

原因不明。

アクション

1. POST 中に **F10** を押して、影響を受けたシステム上で Intelligent Provisioning を手動で起動してみます。
2. Intelligent provisioning を手動で起動できた場合は、この操作を HPE OneView から再度試してください。

手動での起動が引き続き失敗する場合は、iLO を再起動して手順 1 を再度試します。

3. 前の手順が失敗する場合には、サーバーが BL465c で Smart アレイコントローラーがアクティブであれば、RBSU を使用してサーバー上の IOMMU を一時的に無効にします。
 - a. システムの起動時に **F9** キーを押して、UEFI システムユーティリティを開始します。
 - b. システムオプションを選択します。
 - c. プロセッサオプションを選択します。
 - d. **AMD-Vi (IOMMU)** を選択します。
 - e. **無効**を選択します。
 - f. 保存して、UEFI システムユーティリティを終了します。
4. それでも起動が失敗する場合は、最新の UEFI システムユーティリティをインストールします。
<https://hpe.com/info/intelligentprovisioning>

ファームウェアのインストールを完了できない

症状

ファームウェアのインストールを完了できません。

原因

{サーバー}のファームウェアがファームウェアベースラインと一致しない。

アクション

SUT を使用してファームウェアのアップデートを選択した場合、SUT をインストールしてファームウェアとドライバーのアップデートを完了する必要があります。

接続を追加するときに、ネットワークが見つからない

症状

接続を追加するときに、ネットワークが見つかりません。

原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

アクション

論理インターコネクトグループが、アップリンクセットに構成されているネットワークでセットアップされていることを確認します。

HPE OneView でプロファイルのアップデートや削除ができない

症状

プロファイル : MyProfile をアップデートすることができない、またはファームウェアの変更を追加できない

原因

ファームウェアのアップデートが進行中である。

アクション

ファームウェアのインストールが完了するまで待ちます。

複数のサーバープロファイルを削除しようとした場合に、選択したプロファイルの一部が削除されない

症状

複数のサーバープロファイルを選択して削除しようとした場合に、一部のサーバープロファイルが削除されない。

原因

管理対象サーバープロファイル（サービスマネージャーを持つサーバープロファイル）は、個別に削除する必要があります。管理対象サーバープロファイルは、複数のプロファイルの削除から除外されます。

アクション

管理対象サーバープロファイルを個別に削除します。

注記: サービスマネージャーを持つサーバープロファイルを削除すると、サービスに影響する場合があります。Hewlett Packard Enterprise では、対応するサービスマネージャーのドキュメントを参照することをお勧めします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サービスマネージャーによるサーバープロファイル管理の自動化」および「メリットと制限事項」を参照してください。

不整合なファームウェアバージョンが HPE OneView に表示される

症状

ファームウェアはインストールを完了できないか、ベースラインと一致しない。

原因

ファームウェアがファームウェアベースラインと一致しない。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。



- ・ Smart Update Tools をインストールして実行します。
- ・ ファームウェアベースラインのインストールでファームウェアのみオプションを使用するよう、サーバープロファイルを編集します。

HPE OneView でプロファイルの操作が成功していない

症状

サーバーが別の管理システムによって管理されていることがメッセージに示される。

割り当てられたすべての仮想 ID が失われないようにするには、サーバープロファイルを強制的に削除する前に、このセクションにある手順を実行します。

原因

エンクロージャーが HPE OneView によって管理されなくなっている。

アクション

1. REST API または **Windows PowerShell** を使用して、サーバープロファイルを取得します。
`GET /rest/server-profiles`
2. UI または REST API を使用して、プロファイルを強制的に削除します。
3. UI の **ユーザー指定オプション** を使用して ID を再作成するか、REST API を使用してサーバープロファイルを作成します。
 - a. サーバープロファイルを取得します。
`GET /rest/server-profiles`
 - b. サーバープロファイルを編集します。uri、serverHardwareTypeUri、enclosureGroupUri、enclosureUri、および enclosureBay を削除します
 - c. serverHardwareUri の値を、プロファイルに関連付ける予定のサーバーに変更します。
 - d. serialNumberType を Virtual から UserDefined に変更します。
 - e. connections プロパティで、macType を Virtual から UserDefined に変更します。
 - f. connections プロパティで、wwpnType を Virtual から UserDefined に変更します
 - g. connections プロパティで、該当する場合は networkUri を正しいネットワークに変更します。
 - h. サーバープロファイルを作成します。
`POST /rest/server-profiles`

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプのトピック「サービスマネージャーによるサーバープロファイル管理の自動化」および「メリットと制限事項」を参照してください。

BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる

症状

BIOS 設定を適用するときにプロファイル操作がタイムアウトになる。

原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。サーバーのハードウェアまたはその iLO が、電源切断/リセットされているか、アプライアンスが、iLO から進行状況の情報を収集できない。



アクション

ほとんどの場合、操作を再実行すると問題は解決します。

HPE OneView でサーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない

症状

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない、画面上部に、プロファイル操作が失敗したことを示す通知が表示されます。詳細を表示するには、通知領域をクリックします。また、サー

バープロファイル名の横にあるステータスアイコンは、エラー状態 () であることを示します。プロファイルはアプライアンスに残りますが、修正するにはプロファイルを編集する必要があります。サーバープロファイルを修正すると、プロファイルステータスは OK () に変わります。

原因

サーバープロファイルが正しく作成またはアップデートされない。

アクション

1. **HPE OneView ヘルプ**の「サーバープロファイルの作成および適用」トピックに示されている前提条件が満たされていることを確認します。
2. 以下の条件が当てはまることを確認します。
 - ・ 最新の SPP がインストールおよび適用されていること。
 - ・ プロファイル名が入力されており、固有であること。
 - ・ 選択されたサーバーハードウェアの電源がオフになっていること。
詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**のトピック「サーバーの電源オフ」を参照してください。
 - ・ サーバーハードウェアがプロファイル未適用状態で、正しいファームウェアがあり、ポートが正しいインターコネク트에マッピングされており、デバイスベイに割り当てられているプロファイルがないこと。
 - ・ サーバーハードウェアは電源を切つてすぐに入れ直すことができ、ユーザーは、プロファイル設定の適用中にサーバーハードウェアをシャットダウンしなかった。
 - ・ 正しいレベルの iLO およびシステム ROM ファームウェアを適用した。
詳しくは、**HPE OneView ヘルプ**のトピック「ファームウェアレポジトリの表示」を参照してください。
 - ・ サポートされているサーバーハードウェアを使用している。
 - ・ iLO に IP アドレスとネットワーク接続がある。
 - ・ iLO は機能していて、ネットワークケーブルは接続され動作していて、管理ネットワークにスイッチまたはインターコネクトの問題がないかどうかを含むがこれに限定されず、サーバーハードウェア iLO との通信が存在する。

- ・ アプライアンスと管理対象リソースは、ファイアウォールによって切り離されない。
 - ・ エンクロージャーの追加操作が正常に完了した。
 - ・ サーバーハードウェアの追加操作が正常に完了した。
 - ・ 指定したネットワークまたはネットワークセットがサーバーハードウェアのポートで使用可能である。
 - ・ インターコネク트가構成済み状態であり、ファームウェアが正しい。
 - ・ 論理インターコネク트가構成が、その論理インターコネク트가グループと一致する。
 - ・ 物理ポート上に重複ネットワークがない。
 - ・ 複数のアダプターが取り付けられている場合は、すべてのアダプターのファームウェアバージョンが同じである必要がある。
 - ・ ユーザーが指定したアドレスが一意的正しい形式になっている。
3. すでに問題に対処した場合は、プロファイルを編集するか、プロファイルを削除し、別のプロファイルを作成します。
- サーバープロファイルに、同じ物理ポート上の重複ネットワークがある場合、以下を行います。
- ・ 接続を別のポートに変更します。
 - ・ 別の VLAN を使用するように接続を変更します。

サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない

症状

サーバーの電源をオンにしても、SUT が構成されない。

原因

サーバーの電源をオンにしても、サーバープロファイルが Smart Update Tools を使用するように構成されていません。

アクション

影響を受けるサーバープロファイルを編集し、Smart Update Tools を使用するファームウェアアップデートオプションを選択します。

注記: この症状は、論理エンクロージャーの共有インフラストラクチャとサーバープロファイルのファームウェアアップデートを試みたときに見られることもあります。

サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできない

症状

サーバープロファイルの電源をオンまたはオフにできません。

原因

複数のサーバープロファイルを選択した場合、1つ以上のサーバープロファイルがサービスマネージャーによって管理されます。

アクション

サーバーハードウェアページと iLO にある電源オン機能と電源オフ機能を使用します。

詳しくは、[HPE iLO ユーザーガイド](#)と、HPE OneView のオンラインヘルプの「メリットと制限事項」を参照してください。

プロファイルを削除できない : MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない

症状

プロファイルを削除できません。次のメッセージが表示されます。

MyProfile を削除することができない、またはファームウェアの変更を追加できない

解決方法 1

原因

ファームウェアのアップデートが進行中である。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ ファームウェアのインストールが完了するまで待ちます。インストールが完了するまで中止しないことを強くお勧めします。
- ・ 強制削除オプションを選択します。

解決方法 2

原因

サーバーの電源がオフにならない。

アクション

プロファイルを削除するには、サーバーの電源をオフにします。

注記: 瞬間的に押すことは常に許可されますが、押し続ける操作は、サーバーが不安定な状態になる可能性があるため制限されています。

サーバープロファイルの電源をオフにできない

症状

サーバープロファイルの電源をオフにできない。

原因

押し続ける操作が拒否される。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ 電源ボタンを瞬間的に押しても、SUT でハードウェアが不安定な状態になることはありません。
- ・ 電源を押し続ける操作は、SUT が終了状態になった後で試してください。

注記:

- ・ 電源を押し続ける操作は、Smart Update Tools がファームウェアやドライバーをアップデートしている間に行わないでください。
 - ・ ファームウェアのインストールが完了するまで待ち、中断しないことを強くお勧めします。
-

ファームウェアをアップデートできない

症状

ファームウェアをアップデートできない。

解決方法 1

原因

ベースラインが Smart Update Tools でサポートされていません。

アクション

1. 次のいずれかを実行します。

- ・ SUM 7.6.0 以降および iLO 4 ファームウェアバージョン 2.31 以降または iLO 5 ファームウェアバージョン 1.10 以降のベースラインを選択します。SUM について詳しくは、[Smart Update Manager Information Library](#) にある Smart Update Manager ユーザーガイドを参照してください。
- ・ 影響を受けるサーバープロファイルを、**ファームウェアのみ**を使用するよう編集します。

解決方法 2

原因

サーバーに、仮想メディアに必要なライセンスがない。

アクション

サーバーに iLO Advanced ライセンスを適用するか、iLO ホットフィックス 2.30 バージョン以降（可能な場合は最新の iLO バージョン）を適用します。

解決方法 3

原因

- ・ ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 で設定されたダウングレードポリシーにより、ファームウェアをダウングレードできません。
- ・ ファームウェアベースラインがサーバーのバージョンよりも低いバージョンのファームウェアコンポーネントで構成されているサーバープロファイルは、作成または編集できません。
- ・ ファームウェアバージョン 1.40 以降の iLO 5 で設定されたダウングレードポリシーにより、HPE OneView に十分な権限がありません。

アクション

1. iLO Web ユーザーインターフェイスにログインします。
2. セキュリティ > アクセス設定 > アップデートサービスに移動します。
3. ダウングレードポリシーをダウングレードの許可に設定します。
4. サーバープロファイルを編集するか再適用して、操作を再度実行します。

詳しくは、[HPE iLO ユーザーガイド](#)と、HPE OneView のオンラインヘルプの以下のトピックを参照してください。

- ・ サーバープロファイルの作成
- ・ ファームウェアのダウングレード
- ・ サーバープロファイルの編集
- ・ iLO Web UI のファームウェアダウングレード設定
- ・ サーバープロファイルの再適用
- ・ 論理エンクロージャーからのファームウェアのアップデート

ストレージのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない
- ・ ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある
- ・ ストレージシステムポートが失敗の状態にある
- ・ ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある
- ・ ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある
- ・ ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある
- ・ ストレージシステムポートが復旧中の状態にある

- ・ HPE OneView でのターゲットポートの障害
- ・ Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない
- ・ Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない
- ・ ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない
- ・ ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識されない
- ・ HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない
- ・ ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する

HPE OneView で Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーを追加できない

症状

SAN マネージャーの追加が失敗し、エラー「指定されたロケーションに SAN マネージャーが見つかりません。」が発生する

解決方法 1

原因

BNA またはスタンドアロンの SMI エージェントがサーバーにインストールされていない

アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

解決方法 2

原因

フルアクセス権を持つ BNA 管理者アカウントが構成されておらず、アプライアンスで使用できない。

アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

解決方法 3

原因

共通情報モデルオブジェクトマネージャー (CIMOM) がインストールされておらず、サーバー上で構成されていない。



アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

解決方法 4

原因

BNA SSL 設定とアプライアンス上の BNA の SSL 設定が一致しない。

アクション

1. BNA ソフトウェアを使用して、SSL が有効になっているかどうかを確認します。詳しくは、BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。
2. **SAN マネージャー**画面で、BNA のアプライアンスの **SSL を使用**設定と BNA ソフトウェアの SSL 設定が一致することを確認します。SSL 設定が一致しない場合：
 - a. メインメニューで、**SAN マネージャー**を選択し、次のいずれかの操作を実行します。
 - ・ マスターウィンドウで、BNA を選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。
 - ・ 詳細ウィンドウ内にポインティングデバイスを置き、**編集**アイコンをクリックします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「バナーとメインメニュー」と「グラフィカルユーザーインターフェイス」の各トピックを参照してください。

3. **SSL を使用**で、BNA ソフトウェアの SSL 設定と一致するように値を変更します。
4. **OK** をクリックして、変更を保存します。

ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある

症状

ストレージシステムポートがフェイルオーバーした状態にある。

原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートにフェイルオーバーしました。

アクション

1. ストレージシステム上のポートに関する問題を解決します。
2. インフラストラクチャとの接続を確認します。

ストレージシステムポートが失敗の状態にある

症状

ストレージシステムポートが失敗の状態にある。

原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートにフェイルオーバーできません。

アクション

1. 両方のストレージポートのステータスと構成を確認します。
2. ケーブル接続や他のインフラストラクチャの問題を確認します。

ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある

症状

ストレージシステムポートがフェイルオーバー中の状態にある。

原因

ポートはオフラインであり、パートナーポートへのフェイルオーバーの最中です。

アクション

状態が変わるのを待ちます。

ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある

症状

ストレージシステムポートがパートナーが失敗した状態にある。

原因

パートナーポートに障害が発生し、フェイルオーバー操作が成功しませんでした。

アクション

1. 両方のストレージポートのステータスと構成を確認します。
2. ケーブル接続や他のインフラストラクチャ問題を確認してください。

ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある

症状

ストレージシステムポートがパートナーポートがフェイルオーバーした状態にある。

原因

パートナーポートはフェイルオーバーしました。ポートはパートナーポートトラフィックです。

アクション

1. ストレージシステム上のパートナーポートの問題を解決してください。
2. インフラストラクチャとのポート接続を確認してください。

ストレージシステムポートが復旧中の状態にある

症状

ストレージシステムポートが復旧中の状態にある。

原因

ポートはオンラインであり、正常な状態に復帰している最中です。

アクション

状態が変わるのを待ちます。

HPE OneView でのターゲットポートの障害

症状

ターゲットポートで障害が発生している。

解決方法 1

原因

ターゲットポートの障害は、実際のネットワークと予想されたネットワークが一致しないことです。予想されたネットワークをアプライアンス上でアップデートする必要があります。

アクション

1. メインメニューから**ストレージ > ストレージシステム**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、**ストレージシステム**を選択し、**アクション > 編集**の順に選択します。
3. ポートについて、**予想されるネットワーク**を**実際のネットワーク**と一致するように変更します。
4. **OK** をクリックします。

このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。

REST API: `/rest/storage-systems/{id}`

詳しくは、[HPE OneView API リファレンス](#)を参照してください。

解決方法 2

原因

物理配線が正しく構成されていない（ファブリック接続）。



アクション

ストレージシステムと SAN スイッチ間の配線が正しく構成されていることを確認します。

解決方法 3

原因

デバイスでポートの障害が発生した。

アクション

ストレージシステムハードウェアを調べます。必要に応じて修復します。

ハードウェアについては、<https://www.hpe.com/info/oneview/docs> を参照してください。

解決方法 4

原因

ストレージシステムに物理的に接続されているエンクロージャーがアプライアンスに追加されていない（直接接続）。

アクション

エンクロージャー画面を使用してアプライアンスにエンクロージャーを追加します。

解決方法 5

原因

物理配線が正しく構成されていない（直接接続）。

アクション

ストレージシステムとエンクロージャーインターコネクト間の配線が正しく構成されていることを確認します。。

Brocade Network Advisor (BNA) SAN マネージャーとの接続を確立できない

症状

SAN マネージャーとの接続を確立できない

原因

CIMOM がアプライアンスと同じサブネット上にある NIC にバインドされていない



アクション

BNA ソフトウェアのドキュメントを参照してください。

Fabric オペレーティングシステム (FOS) SAN マネージャーとの接続を確立できない

症状

SAN との接続を確立できない。

解決方法 1

原因

FOS REST API が無効になっています。

アクション

FOS REST API を有効にします。

詳しくは、HPE OneView のオンラインヘルプの「FOS API を使用した管理用の Brocade スイッチの構成」トピックを参照してください。

解決方法 2

原因

HTTPS が要求されましたが、FOS HTTPS が構成されていません。

アクション

FOS HTTPS 証明書を作成して HTTPS を有効にします。

詳細については、Brocade Fabric OS 管理ガイドを参照してください。

ボリュームがオペレーティングシステムを期待どおりに起動しない

症状

SAN ストレージボリュームの構成には目に見えるエラーはないが、ボリュームが期待どおりに動作しない。

原因

サーバープロファイルで定義されている iSCSI イニシエーターの CHAP 名が、ネットワークアダプターで要求されている名前の文字数制限を超えています。CHAP 名が認識されないと、ブレードはストレージに接続できず、ボリュームはオペレーティングシステムを起動できません。

アクション

1. **HPE OneView サポートマトリックス**を参照し、サポートされているアダプターに関する既知の文字数制限を確認してください。
2. サーバードプロファイル内で、SAN ストレージボリュームの iSCSI イニシエーターの CHAP 名を、対象のネットワークアダプターの既知の文字数制限内になるように再設定します。
3. 操作を再試行してください。

ボリュームがストレージシステムから認識されるが、アプライアンス上で認識されない

症状

ボリュームが正常な状態でない。

原因

ボリュームがアプライアンス上で認識されないのは、ボリュームが、アプライアンスによって管理されていないストレージプールに移動されていることが原因と考えられます。

アクション

1. アプライアンスによって管理されているプールにボリュームを移動し、ストレージシステムソフトウェアを使用してボリュームを更新します。詳しくは、ストレージシステムのドキュメントを参照してください。
2. ボリュームが配置されているストレージプールをアプライアンスの管理下に置きます。

ボリュームがアダプティブオプティマイゼーションによって移動された場合は、アダプティブオプティマイゼーションが使用する可能性のあるすべてのプールをアプライアンスの管理下に置くことをお勧めします。この手法により、アダプティブオプティマイゼーションによって移動される場合、ボリュームを引き続きアプライアンスで使用できます。

- a. メインメニューから**ストレージ > ストレージプール**の順に選択し、以下のいずれかを実行します。

マスターウィンドウで**+ストレージプールの追加**をクリックします。

アクション > 追加の順に選択します。

- b. **ストレージシステム**で、追加するストレージプールを含む**ストレージシステム**を選択します。
 - c. **ストレージプール**で、追加する**ストレージプール**を選択します。
 - d. **追加**をクリックして**ストレージプール**を追加するか、**追加+**をクリックして別のプールを追加します。
3. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。

`/rest/storage-pools`

詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。

HPE OneView のサーバーハードウェアでボリュームを利用できない

症状

サーバーでボリュームにアクセスできない。

解決方法 1

原因

SAN ゾーンが正しく構成されていない、または存在しないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

アクション

1. アタッチメントを再び有効にする（管理対象 SAN の場合）：
 - a. メインメニューから**サーバー** > **サーバープロファイル**の順に選択します。
 - b. マスターウィンドウで、サーバープロファイルを選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。
 - c. 有効にするポートを見つけ、**有効**を選択します。
 - d. **OK** をクリックします。
2. SAN 管理ソフトウェアを使用してゾーンを作成または構成します（管理対象 SAN なし）。
 - a. **OK** をクリックします。
 - b. SAN マネージャードキュメントを参照してください。
3. 管理対象 SAN を使用する場合
 - a. SAN マネージャーと SAN がネットワークに関連付けられていることを確認します。
 - b. 自動ゾーニングが有効になっていることを確認します。
4. SAN の自動ゾーニングが有効になっていない
 - a. ゾーンが手動で構成されていることを確認します。
 - b. SAN マネージャードキュメントを参照してください。

解決方法 2

原因

インターコネクトポートが無効になっているためにサーバーイニシエーターがファブリックにログインしていないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

アクション

1. アプライアンスでインターコネクトポートを有効にする
 - a. メインメニューから、**インターコネクト**を選択します。
 - b. マスターウィンドウで、インターコネクトを選択し、**アクション** > **編集**の順に選択します。

- c. 有効にするポートを見つけ、**有効**を選択します。
 - d. **OK** をクリックします。
2. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。
REST API: `/rest/interconnects/{id}/ports`
詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。
3. 論理インターコネクトグループを再構成してください。
 - a. メインメニューから、**ネットワーク > 論理インターコネクトグループ**の順に選択します。
 - b. マスターウィンドウで、論理インターコネクトグループを選択し、**アクション > 編集**の順に選択します。
 - c. ネットワークが希望するインターコネクトポートと接続するようにアップリンクセットを編集します。
 - d. **OK** をクリックします。
 - e. 論理グループインターコネクトリンクがオンラインに復帰することを確認します。
 - f. メインメニューから、**論理インターコネクト**を選択します。
 - g. マスターウィンドウで論理インターコネクトを選択し、**アクション > グループからアップデート**の順に選択します。
4. このタスクを完了するのに REST API を使用することもできます。
REST API: `/rest/logical-interconnect-groups/{id}` および `/rest/logical-interconnects/{id}/compliance`
詳しくは、HPE OneView REST API リファレンスを参照してください。
5. 物理配線が意図したとおりに構成されていることを確認します。

解決方法 3

原因

接続がサーバープロファイルで定義されていないことが、サーバーでボリュームにアクセスできない原因として考えられます。

アクション

1. サーバープロファイルでネットワークに接続を追加します。メインメニューから**サーバー > サーバープロファイル**の順に選択します。
2. マスターウィンドウで、サーバープロファイルを選択し、**アクション > 編集**の順に選択します。
3. **接続**で、**接続の追加**をクリックします。
4. **デバイスタイプ**で、**Fibre Channel over Ethernet** を選択します。
5. **ネットワーク**で、ストレージシステムに接続されているネットワークを選択し、**追加**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。

ゾーン操作が Cisco SAN マネージャーで失敗する

症状

Cisco SAN マネージャーでのゾーン操作が失敗する。

原因

snmpd サービスがクラッシュした。

SAN マネージャーソフトウェアの SAN マネージャーログを見て、snmpd サービスがクラッシュしたことを確認してください。snmpd サービスがクラッシュする原因の 1 つは、SAN マネージャーのファームウェアが古いことです。

アクション

SAN マネージャーのファームウェアを最新バージョンにアップデートする

1. SAN マネージャーのファームウェアをアップデートする際は、メーカーの指示に従ってください。
2. ゾーン操作をアプライアンス上で再度試してください。

スイッチのトラブルシューティング

スイッチの通信

ユーザーアカウントのトラブルシューティング

- ・ HPE OneView でディレクトリグループを追加できない
- ・ ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない
- ・ HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない
- ・ HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない
- ・ HPE OneView でディレクトリグループが見つからない
- ・ HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない
- ・ ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない
- ・ HPE OneView での不正な権限
- ・ 認証されていないユーザーまたはグループ
- ・ HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない

HPE OneView でディレクトリグループを追加できない

症状

ディレクトリグループをアプライアンスのグループとして追加できませんでした。

解決方法 1

原因

指定された認証ディレクトリおよびグループはすでに存在しています。グループは固有のものである必要があります。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 現在のグループを別のパーミッションに再割り当てするか、別のグループを作成して必要なパーミッションにマップします。

解決方法 2

原因

外部的な問題により、ディレクトリサーバーのホストが切断されました。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
3. ディレクトリサービスに正しいポートが使用されていることを確認します。
4. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。

ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できないを参照してください。

5. ディレクトリサービスホストの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
6. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
7. アプライアンスが仮想マシンでホストされている場合は、仮想マシンが適切に機能し、十分なリソースが割り当てられていることを確認します。

解決方法 3

原因

認証の問題が、アプライアンスがディレクトリサービスへログインするのを妨げました。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
3. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
4. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。

解決方法 4

原因

ディレクトリサービスの構成中に指定されたサービスアカウント認証情報は、外部認証ディレクトリで変更されます。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスを編集し、新しいサービスアカウント認証情報をアップデートします。
3. グループを追加します。

ディレクトリサービスを HPE OneView に追加できない

症状

ディレクトリサービスをアプライアンスに追加することはできません。

解決方法 1

原因

外部的な問題により、ディレクトリサーバーのホストが切断されました。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
3. ディレクトリサーバーの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
4. ディレクトリサービスとの LDAP 通信用のポートが SSL ポート（デフォルトは 636）またはグローバルカタログ SSL ポート（デフォルトは 3269）であることを確認します。
5. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636 または 3269）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。
6. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
7. アプライアンスが適切に機能していることと、十分なリソースがあることを確認します。

解決方法 2

原因

証明書の期限が切れているので、ディレクトリサーバーのホストがアプライアンスの認証を拒否しています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。

3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。
4. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。

解決方法 3

原因

証明書が有効な x509 の形式ではありません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 必要に応じて、ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。

解決方法 4

原因

証明書に x509v3 キー使用法拡張機能が含まれていません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 証明書にキー使用法拡張機能が含まれていることを確認します。
3. 必要に応じて、ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。

解決方法 5

原因

認証情報が有効ではないため、ディレクトリサーバーのホストはアプライアンスを認証できません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
3. 検索コンテキスト情報が正確であることを確認します。別のアカウントまたはグループにアクセスしようとしている可能性があります。
4. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
5. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。

解決方法 6

原因

ディレクトリサービスの構成時に、正しくないパラメーターが使用されました。

アクション

1. ディレクトリサービスの名前が一意であり正しく入力されていることを確認します。重複する名前は使用できません。
2. ディレクトリの種類が正しいことを確認します。
3. ベース DN フィールドと、OpenLDAP の場合はユーザーネーミング属性フィールド、および組織ユニットフィールドが正しいことを確認してください。
4. 認証ディレクトリサービス管理者の認証情報が正しいことを確認します。
5. グループがディレクトリサービスに構成されていることを確認します。

HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない

症状

ディレクトリサービス用にサーバーを構成することはできません。

解決方法 1

原因

アプライアンスがディレクトリサービスとの接続を失ったため、その接続が失われました。

アクション

1. ディレクトリサービスホストの設定が正確であることを確認します。
2. ディレクトリサービスに正しいポートが使用されていることを確認します。
3. 通信に使用しているポート（デフォルトポート 636）がファイアウォールによってブロックされていないことを確認します。
4. ディレクトリサービスホストの IP アドレスまたはホスト名に対してローカルで ping コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
5. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
6. アプライアンスが仮想マシンでホストされている場合は、適切に機能していて、十分なリソースがあることを確認します。

解決方法 2

原因

ディレクトリサービス用のサーバーにログインすると、認証エラーになります。

アクション

1. ログイン名とパスワードが正確であることを確認します。
2. ディレクトリサービスホスト証明書を再取得し、インストールします。
3. ディレクトリサービスプロバイダーに問い合わせ、認証情報が正確であることを確認します。

HPE OneView でローカルユーザーアカウントを削除できない

症状

エラーコード 500 で削除が失敗する。

アクション

1. 次の REST API コールを実行して、削除するユーザーアカウントを修正します。

```
PUT https://{appl}/rest/users
```

2. もう一度ユーザーアカウントの削除を試みてください。

HPE OneView でディレクトリグループが見つからない

症状

外部認証ディレクトリサービスで、指定されたグループが見つからない。

解決方法 1

原因

外部認証ディレクトリサービスでグループが構成されていないか、検索パラメーターにエラーが含まれています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. 外部認証ディレクトリサービスの認証情報を確認します。
3. ディレクトリサービスが動作していることを確認します。
4. グループの名前を確認します。
5. ディレクトリサービス管理者に問い合わせ、外部認証ディレクトリサービスにグループのアカウントが構成されていることを確認します。
6. もう一度グループを検索してみてください。

解決方法 2

原因

ディレクトリのタイプが正しく指定されていません。例えば、Active Directory サービスが OpenLDAP として指定されている可能性があります。



アクション

インフラストラクチャ管理者としてログインします。

解決方法 3

原因

指定した認証ディレクトリサービスの検索には、どのグループも含まれていません。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. OpenLDAP の場合、ディレクトリサーバーのユーザーが読み取り権限 (rscdx) を持っていることを確認します。これは、HPE OneView が検索結果を読み取れるようにするためです。

解決方法 4

原因

ディレクトリグループへのアクセス中にエラーが発生しました。ディレクトリサービスサーバーに到達できませんでした。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサーバーホストへの接続を確認します。
3. OpenLDAP では、必要な 1 つ以上のグループを取得するためにすべての組織ユニットを追加します。**追加ボタン**を使用して、ユーザーとグループが存在する場所に個別に組織ユニットを追加します。

解決方法 5

原因

外部の問題によって、ディレクトリサービス用に構成されたサーバーへのアプライアンスの到達が妨げられました。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてログインします。
2. ディレクトリサーバーホストへの接続を確認します。[HPE OneView でディレクトリサービス用のサーバーを追加できない](#)を参照してください。

HPE OneView でローカルユーザーアカウントを変更できない

症状

ローカルユーザーアカウントを追加、編集、または削除することができない。

解決方法 1

原因

適切な権限がないか、無効なパラメーターを入力しました。

アクション

インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。

解決方法 2

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. もう一度ユーザーアカウントの追加、編集、または削除を試みてください。

解決方法 3

原因

アプライアンス証明書が無効であるか、失効しています。

アクション

1. インフラストラクチャ管理者としてアプライアンスにログインします。
2. 新しいアプライアンス証明書を取得します。
3. ブラウザーページを更新します。
4. 新しい証明書を承諾します。
5. ユーザーアカウントを追加します。
6. もう一度ユーザーアカウントの追加、編集、または削除を試みてください。

ディレクトリサービスを HPE OneView から使用できない

症状

アプライアンスはディレクトリサービスにアクセスできません。

解決方法 1

原因

ディレクトリサービスのサーバーにはアクセスできません。

ディレクトリサービスのサーバーまたはネットワークのいずれかがダウンしています。



アクション

1. ディレクトリサーバーの IP アドレスまたはホスト名に対して **ping** コマンドを実行して、オンラインかどうかを確認します。
2. アプライアンスネットワークが正しく動作していることを確認します。
3. ディレクトリサービス管理者に問い合わせ、サーバーがダウンしているかどうかを確認します。

解決方法 2

原因

構成エラーは、ディレクトリサービスの到達を妨げます。

アクション

1. ディレクトリサービスの名前が一意であり正しく入力されていることを確認します。重複する名前は使用できません。
2. ディレクトリの種類が正しいことを確認します。
3. ベース DN フィールドと、OpenLDAP の場合はユーザーネーミング属性フィールド、および組織ユニットフィールドが正しいことを確認してください。
4. 認証ディレクトリサービス管理者の認証情報が正しいことを確認します。
5. グループがディレクトリサービスに構成されていることを確認します。
6. グループに割り当てられている役割が正しいことを確認します。

HPE OneView での不正な権限

症状

ユーザーがユーザーインターフェイスで管理対象オブジェクトを表示するには、(最低でも) そのオブジェクトに対する表示権限を持っている必要があります。

特定のリソース情報を表示したり、リソースのタスクを実行したりできない

原因

割り当てられている役割に正しい権限がない。

アクション

作業を行うために、インフラストラクチャ管理者から別の役割または追加の役割を要求します。

認証されていないユーザーまたはグループ

症状

ディレクトリユーザーとしてログインできない。

注記: 各ユーザーは、アプライアンスへのログイン時に、ユーザー名とパスワードを確認する認証サービスによって認証されます。**設定の編集 > 認証画面**を使用して、アプライアンスで認証設定を構成できます。アプライアンスの初期セットアップでは最初にデフォルト値が入力されます。

原因

認証設定が正しくありません。

アクション

1. ユーザー画面から、ユーザーまたはグループをディレクトリに追加をクリックします。
2. ディレクトリの追加をクリックします。
3. 設定の編集 > 認証画面で、ディレクトリの追加をクリックします。
4. 要求される情報を入力します。
5. OK をクリックします。

HPE OneView によってユーザーの公開キーが受け付けられない

症状

ユーザーの公開キーが動作しない、または受け付けられない。

原因

コピー/貼り付け操作中に取り込まれた非表示の文字によってキーコードが変更される。

アクション

1. 公開キーフィールドに貼り付けるときに、特殊文字がキーに挿入されないように注意しながら、キーを再度入力します。
2. サポートされるのは、RSA キーのみです。



HPE OneView のドキュメントの場所

HPE OneView ヘルプ

アプライアンス上のヘルプを表示するには、**?** をクリックしてを開きます。

サイドバーのリンクから、新しいブラウザウィンドウまたはタブにヘルプを開くことができます。

- ・ **このページのヘルプ** : 現在の画面のヘルプが表示されます。
- ・ **ヘルプを参照** : ヘルプシステムのトップ画面が表示されます。ここから、参照したいヘルプを選択できます。
- ・ 画面またはダイアログボックスで **?** をクリックすると、そのダイアログボックスのコンテキスト依存のヘルプが表示されます。

注記: HPE OneView ドキュメントに関するフィードバックを送信するには、docsfeedback@hpe.com にメールを送信します。

詳細情報

その他の情報リソースについては、**Web サイト**を参照してください。



HPE OneView 製品に関するフィードバック

Hewlett Packard Enterprise へのフィードバックの送信

Hewlett Packard Enterprise に、Hewlett Packard Enterprise 製品についてのフィードバックをお寄せください。Hewlett Packard Enterprise に直接フィードバックを送信するには、<https://www.hpe.com/us/en/contact-hpe> にアクセスして、**Submit and check case status > [+]Feedback** を選択します。

Gartner Peer Insights へのフィードバックの送信

Hewlett Packard Enterprise は、率直なフィードバックを送信する別のオプションとして、いくつかの第三者のサイトと提携しています。最初の提携は、情報テクノロジーの有益な情報を提供する主要な研究およびコンサルティング会社である Gartner です。Hewlett Packard Enterprise は、HPE OneView をレビューし、15 分以内にフィードバックを送信できる Gartner Peer Insights の調査をセットアップするために Gartner と提携しています。HPE OneView のフィードバックをご提供いただける場合は、リンク <https://gtnr.it/2jgx9Ju> にアクセスしてください。



Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/oneview/docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE BladeSystem エンクロージャー

<https://www.hpe.com/info/blades-ja>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

HPE Integrity Superdome X

<https://www.hpe.com/info/superdome>

HPE ProLiant サーバーハードウェア

- ・ 一般情報 : <https://www.hpe.com/info/servers-ja>
- ・ BL シリーズサーバーブレード : <https://www.hpe.com/info/blades-ja>
- ・ DL シリーズラックマウント型サーバー : <https://www.hpe.com/jp/ja/servers/proliant-dl-servers.html>

HPE Superdome Flex サーバー

<https://www.hpe.com/info/superdome>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>



Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。FTP サイトを必要としないログの直接ダウンロードなど、信頼されたサポート技術者が問題を診断する際に現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。

詳細情報

[HPE OneView ヘルプ](#)の「HPE OneView アプライアンスへのリモートアクセスサービスの構成」。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンストサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

